

## 小金井市長期計画審議会（第12回）次第

日時 令和2年7月17日（金）午後7時00分から  
場所 小金井市役所本庁舎第一会議室

### 【次第】

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 2 パブリックコメントについて
- 3 次回以降の開催日について
- 4 その他

### 【配布資料】

別紙配布資料一覧のとおり

小金井市長期計画審議会

配付資料一覧

	No.	資料名	備考	
第1回 (6月28日)	1	小金井市長期計画審議会の運営等について(案)		
	2	小金井市市民参加条例、同施行規則(抜粋)		
	3	小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領		
	4	意見・提案シート		
	5	基本構想・基本計画について		
	6	小金井市長期総合計画策定方針		
	7	小金井市長期総合計画討議要綱		
	8	小金井市長期総合計画策定に当たっての市民意見まとめ (令和元年6月28日現在)		
	9	長期計画審議会・起草委員会全体スケジュール(案)		
	10	審議会・起草委員会の役割(案)		
	11	市報(抜粋)		
	冊子		第4次基本構想・後期基本計画	
	冊子		第4次基本構想・後期基本計画(概要版)	
	冊子		小金井市人口ビジョン 小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)	
	冊子		こがねいデータブック	
	冊子		平成30年度小金井市市民意向調査報告書	
	冊子		わたしの便利帳	
第2回 (7月12日)	12	新たな計画策定に向けた意見書(写)		
	13	第5次小金井市基本構想・前期基本計画の構成と検討の進め方(案)		
	14	第5次小金井市基本構想(素案)		
	15	将来像について		
	16	まちづくりの基本姿勢について		
	17	意見シート(委員用)		
第3回 (8月7日)	9-2	長期計画審議会・起草委員会全体スケジュール(案)		
	13-2	第5次小金井市基本構想・前期基本計画の構成と検討の進め方(案)		
	8-2	小金井市長期総合計画策定に当たっての市民意見まとめ (令和元年8月7日現在)		
	18	起草委員会委員(案)		
	19	小金井市長期計画起草委員会設置要綱(案)		
	20	第5次小金井市基本構想「6政策の取組方針」のイメージ		
	21	第5次基本構想政策シート(環境・都市基盤、福祉・健康)		
	22	第4次基本構想・基本計画取組状況の振り返り (環境と都市基盤、福祉と健康)		
	23	SDGsについて		
冊子		小金井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書(概要版)		
第4回 (8月21日)	8-3	小金井市長期総合計画策定に当たっての市民意見まとめ (令和元年8月21日現在)		
	24	第3回小金井市長期計画審議会メモ(委員提出資料)		
	25	基本構想・基本計画の構造について		
	21-2	第5次基本構想政策シート (地域・経済、子ども・教育、文化・生涯学習、行政経営)		
	22-2	第4次基本構想・基本計画取組状況の振り返り (地域と経済、文化と教育、計画の推進)		
	26	市民懇談会について		
第5回 (10月11日)	27	意見・提案シート	8月21日收受	
	28	第5次小金井市基本構想(素案)(令和元年10月11日現在)		
	29	将来像について		
	30	まちづくりの基本姿勢について		
	31	市民懇談会について		
第6回 (10月25日)	32	第5次小金井市基本構想(素案)(令和元年10月25日現在)		
	33	将来像について		
	34	市民懇談会について		
	35	将来像の「つなごう絆」について(委員提出資料)		

	No.	資 料 名	備 考
第 7 回 (11月16日・17日)	36	第 5 次小金井市基本構想 (素案)	市民懇談会
第 8 回 (12月20日)	37	市民懇談会開催報告書	
	38	第 5 次小金井市前期基本計画 (素案) (令和元年12月20日現在)	
	9-3	長期計画審議会・起草委員会全体スケジュール (案)	
第 9 回 (1月24日)	37-2	市民懇談会開催報告書	
	39	第 5 次小金井市基本構想 (素案) 修正箇所抜粋	
	40	第 5 次小金井市前期基本計画 (素案) 施策頁抜粋 (令和 2 年 1 月 24 日現在)	
	41	第 3 回起草委員会とりまとめ (目指す姿・指標)	
	42	(仮称) 市民懇談会のネーミングについて	
第 1 0 回 (4月20日)	43	小金井市しあわせプラン (素案) (令和 2 年 4 月 1 日現在)	事前配布
第 1 1 回 (5月13日)	44	小金井市しあわせプラン (素案) (令和 2 年 5 月 1 日現在)	事前配布
	45	前回審議会からの修正内容	事前配布
	46	総合戦略の概要	事前配布
	47	パブリックコメントについて	事前配布
	9-4	長期計画審議会・起草委員会全体スケジュール	事前配布
第 1 2 回 (7月17日)	48	第 5 次小金井市基本構想・前期基本計画 (案) に対する意見及び検討結果について (案)	

第 5 次小金井市基本構想・前期基本計画（案）に対する  
意見及び検討結果について（案）

小金井市市民参加条例第 15 条の規定に準じ、第 5 次小金井市基本構想・前期基本計画（案）に対する市民提言制度（パブリックコメント）を実施した結果について、下記のとおり公表します。

なお、お寄せいただいた御意見と検討結果については、小金井市ホームページに掲載して公表するほか、企画政策課（市役所本庁舎 2 階）、広報秘書課広聴係（市役所第二庁舎 1 階）、情報公開コーナー（同 6 階）、公民館各館、婦人会館、総合体育館、図書館（本館）、保健センター及び東小金井駅開設記念会館で御覧いただけます。

## 記

## 1 施策の名称 第 5 次小金井市基本構想・前期基本計画（案）

## 2 意見の募集方法

## (1) 意見募集期間

令和 2 年 6 月 1 日から同年 7 月 10 日まで

## (2) 意見提出方法

直接持参、郵送、ファクス、電子メール又は市報 6 月 1 日号掲載の返信用封筒

## 3 意見の提出状況

## (1) 提出人数

区 分	直接持参	郵 送	ファクス	電子 メール	返信用 封筒	計
個 人	1 人	0 人	7 人	22 人	16 人	46 人
団 体	0 人	1 人	0 人	1 人	0 人	2 人
計	1 人	1 人	7 人	23 人	16 人	48 人

※同内容の御意見を複数の区分で提出いただいたものは、先に届いた区分で集計しています。

## (2) 延べ意見数

66 件

## (3) 意見内容の内訳

## ア 基本構想

20 件

イ 前期基本計画	101件
(全般)	(5件)
(環境と都市基盤)	(37件)
(地域と経済)	(6件)
(子どもと教育)	(15件)
(文化と生涯学習)	(10件)
(福祉と健康)	(7件)
(行政運営)	(14件)
ウ まち・ひと・しごと創生総合戦略	1件
エ その他	6件

※一つの意見に、複数の内容を含むものを重複してカウントしているため、(2)延べ意見数とは一致しません。

4 寄せられた意見と検討結果  
別紙のとおり

5 問合せ先

小金井市企画財政部企画政策課企画政策係

電 話 042-387-9800

F A X 042-387-1224

E-Mail s010199@koganei-shi.jp

## 第5次小金井市基本構想・前期基本計画（案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間：令和2年6月1日から同年7月10日まで

意見提出数：48人・66件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
全意見に向けて		1 新型コロナウイルス感染症について 本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、皆様の御意見も参考にしながら、審議会で改めて全体の見直しを検討してまいります。 つきましては、今回まとめました検討結果は、現時点での審議会の回答であり、今後の検討次第で変更となる場合があることを、御理解くださいますようお願いいたします。	
		2 個別事業に関する御意見について 今回、個別の事業について多くの御意見をいただきました。基本構想・基本計画は、本市の最上位の計画として、行政だけでなく市民、団体、事業者にとっても活動の指針となるものとして、政策の取組方針や施策の方向性についてを定めるものとしています。そのため、個別に検討が必要な事業について本計画案では定めておりませんが、いただいた御意見は事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。	
1	基本計画 (子どもと教育) (文化と生涯学習) (行政運営)	東小金井北側に児童館、図書館の建築を希望です。 梶野町で子育てしていますが、児童館がなく、(あかねは長期休みは不可で毎日ではない) 東児童館か、桜堤児童館にいくしかありません。いずれにしても遠いです。 また、図書館も遠く、小学生が一人で徒歩で行ける範囲がないのが不便です。 三小が一番児童数が多いのに、この状態はひどすぎます。 貫井北センターのような施設を東小金井北側に作っていただけませんか？ また、以前、市長へのメールにもさせていただきましたが、図書館の建物作りが大変なのであれば、「電車図書館」は	公共施設の在り方については、検討していくべき重要な課題として審議会の中でも共通の認識をもっているところです。施設の老朽化や将来の人口減少社会を見据え、長期的な視点に立った公共施設の更新、統廃合、長寿命化を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化しながら、マネジメントの視点をもってこれからの公共施設の在り方を検討していく必要があるものと考えています。この公共施設マネジメントについては、施策29 計画的な行財政運営(P.90)にも位置付けられているところですが、図書館や児童館など個々の施設に関しては、個別に検討を要することから、本計画案に記載しておりません。

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>いかがでしょうか？</p> <p><a href="https://search.yahoo.co.jp/amp/s/ennori.jp/amp/3157/kumegawa-train-library%3Fusqp%3Dmq331AQQKAGYAdXZuo0563qLLABIA%253D%253D">https://search.yahoo.co.jp/amp/s/ennori.jp/amp/3157/kumegawa-train-library%3Fusqp%3Dmq331AQQKAGYAdXZuo0563qLLABIA%253D%253D</a></p> <p>たとえば中央線から見えるところに、このような電車図書館があれば、鉄道ファンにも話題になりますし、子どもにとっては図書館にいきたくて大人気になると思います。東小金井北側に狭い公園作ってもなにもなりません。古い車両を使えば、話題にもなり、建築費も節約できるでしょう。</p> <p>小金井をお金をかけずにもっと盛り上げられると思います。いかがですか？</p> <p>あわせて、東小金井駅の発車メロディをジブリスタジオに依頼し、ジブリ映画の曲にしたら、乗降客もふえませんか？</p> <p>柔らかい発想、市内のなかで不公平のない子育て、文化施策を強く望みます。</p>	<p>また、その他いただいた御提案についても、個別に検討を要する事業となりますので、本計画案に記載していませんが、今後施策を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>
2	<p>基本計画 (環境と都市基盤) (地域と経済) (子どもと教育)</p>	<p>子供達の登下校の安全が不安なので、スクールバスの運行を希望します。</p> <p>交通量の多い道の横断や、不審者の出没、連れ去り等が心配です。</p> <p>学童に関しても、児童館への移動が不安です。</p> <p>学校の空き教室を利用して、施設間の移動を無くし、学校に保護者が迎えに行けるようにして欲しい。</p>	<p>子どもたちの安全については、登下校だけでなく日常生活全般において、地域の協力を得ながらみんなで守っていくべきものと考えます。そのため市では、子どもを見守る家、子どもの見守りパトロール、子どもが通る道の安全確保などの取組を行っています。いただいた御意見につきましては、子どもたちが徒歩で通学することで、成長に必要な体験ができるという考えもありますので、今後事業を様々な視点から検討する上で参考としていくべきものと考えます。</p>
3	基本計画	【施策1 みどりと水と環境整備】について生産緑地を市	生産緑地は、市民農園等の有効な活用が求められます。

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	(環境と都市基盤)	民農園として活用する案は賛成です。自分の家の近くにも市民農園がありますが、すぐに募集がいっぱいになったと聞きます。うちも小さな庭はありますが、野菜を育てられるほどの広さはないため、チャンスがあればぜひ利用したいと思っていますし、周りにも周りにもそういった知り合いは多いです。今生産緑地で行われている農業を無理に継続させることは必ずしも必要のないと思います。農地でなくなることで緑化が損なわれるとは思いませんし、住宅になったり、公園になったりしたら、農地だった時以上に活用出来ていると思います。	農地については、施策 11 の都市農業の振興(P. 54)に記載をしている内容ですが、多面的機能を持つ農地の適正な保全を図るとともに、地域コミュニティ活動の「場」として農地を活用した新たな取組の紹介などを通じた小金井農業の魅力の発信により、市民の都市農業に対する理解や関心を高め、持続可能な都市農業の確立に向けた取組を推進することが必要だと考えます。
4	基本計画 (環境と都市基盤)	【施策 2 循環型社会の形成】について 申し訳ありませんが、3R という言葉は今回初めて知りました。 3R をより浸透させるための方法を改善する必要があるのではと思います。 コロナの影響でテレワークになり平日も自宅でお昼を食べるようになった結果、我が家は弁当ガラのゴミ(プラゴミ)がすごく増えました。 今後テレワークを続ける人が増えればゴミは増えると思いますので、そういった事情も踏まえて、目標設定・進捗状況の評価をする必要があるかと思えます。	市では、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」を目指し、3Rのリデュース(発生抑制)を最優先とした3Rを推進するため、食品ロス削減の推進、マイバッグ・マイボトル・マイはしの利用促進等の取組を行っていると考えています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による今後の在り方について、事業を進める上で検討が必要であると考えています。
5	基本計画 (環境と都市基盤)	【施策 3 環境保全の推進】について 私は小金井で家を購入する際、最初に検討していた物件が鉄塔のすぐそばだったため、電磁波測定器を業者よりレンタルして測定しました(結局 WHO が出している基準値には全然到達しないレベルのものでしたが)。 他にも変電所もあるので、電磁波について計測・公表して	目に見えないもので長期的に関わる問題ですので、御心配はもっともと考えております。専門機関によると、身のまわりの弱い電磁波で疾病に関連する証拠は因果関係とみなせるほどのものではない、とされています。そのため、現在計測・公表がされておりましたが、今後はより情報化社会となり、環境も変化していくことが想定されますの



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		もよいのではないかと思います。	で、いただいた御意見については、社会の状況を注視し、本計画案ではなく、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。
6	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>【施策4 市街地の整備】についてアンケートの「小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる」ですが、小金井らしいかどうかはとは少し違うかもしれませんが、商業施設として大規模な書店と家電量販店があれば、私はこの質問に YES と答えます。</p> <p>武蔵小金井駅前にもどちらもありますが、これに関しては結局吉祥寺のジュンク堂書店とヨドバシカメラに行っています。南口で開発している商業施設に入るか期待していましたが、どうやら入らないようなので残念です。また、武蔵小金井駅北口の SEIYU のビルはどのような予定でしょうか？</p> <p>ずっと三井住友銀行が入ったままになっていますが、かなり老朽化している用なので、早く建て替えられることを望みます。</p> <p>また、あのビルのエリアが使えるようになると、北口もずっと見通しがよくなるのではないかと思います。</p>	若者世代の市民の意見を聴くために開催したワークショップでも、特定のお店があるかが市の魅力につながるという御意見を多くいただきました。武蔵小金井駅北口の大型店舗跡地ですが、地元の方々を中心としてまちづくりの方向性が検討されているとのこと。いただいた御意見については、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。
7	基本計画 (子どもと教育) (行政運営)	<p>新型コロナ対策。オンライン授業等に対応できない、インターネット環境がおぼつかない世帯に対するフォローを。不要不急の支出をなくし市民を守る火急の対策をお願いしたい。</p>	市によれば、子どもたち一人ひとりの教育環境については、文部科学省の提唱するGIGAスクール構想に基づき、その実現に向けて、全ての児童生徒がオンライン授業に対応できるよう準備を進めていると聞いています。本計画案 65 頁においても、児童・生徒用の ICT 機器の充足率を指標にするなど一定盛り込んでおります。
8	基本計画 (行政運営)	<p>コキンちゃんのワンポイントのマスク作ってればよかったなァって思いますよ。</p>	<p>こきんちゃんの活用については、施策 28 積極的な情報公開 (P. 88) のシティプロモーションの取組の一つとして</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
			捉えています。いただいた御意見については、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。
9	基本構想 基本計画 (全般)	<p>この案では</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と都市が不調和で、人にはつらいまち</li> <li>・毎日が不安で暮らしにくいまち</li> <li>・一人ひとりがつまらなく生きるまち</li> <li>・閉じた市政で誰も信頼しないまち</li> <li>・全員がうちうち暮らすまち</li> <li>・心まずしく子供が育つまち</li> </ul> <p>が現状となってしまいます。チガウデショ！ 基本計画をつくる時、現状を踏まえなければなりません が、このままでは言葉の遊びになってしまいます。 「これは総論だから」と云うのは言い訳です。例えば「自分らしく学びを楽しむまちの実現」を「図書館の充実と図書館サービスの充実」とおき代えるだけでイメージがはっきりし、議論も活発化すると思いますよ。</p>	<p>御指摘いただいた本計画案の政策の取組方針における、政策ごとの目指すまちの姿は、各政策において目指すべき、あるべきまちの姿を示したものです。既に実現しているものであっても、それを維持することが重要です。そのための施策・事業を進めるための、基本的な取組方針を示すものです。</p> <p>また、後段につきましては、本計画案はまさに「総論」であり、個々の「事業」をまとめた様々な「施策」を、6つの政策に分類したものです。例示の箇所而言えば、図書館だけでなく、公民館・体育館・美術館なども含まれますし、それらを活用した生涯学習や地域づくりのことも含まれます。この総論の上で、どういう事業を展開していくかを個々の計画などで定めるという考えで策定していますので御理解ください。</p>
10	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>小金井市に引越して1年が経った頃に、コロナ禍による外出自粛の日々がやってきました。近所に野川があることは最大限に感謝を表現してもしつこくない程に家族にとっても有難い存在となりました。</p> <p>今後は散歩のかたわら自発的に散見するゴミ類の回収をしていく所存です。</p> <p>自治体主導でも定期的な野川ゴミ拾い一斉週間など計画し、実行して欲しいとも思います。</p> <p>また、武蔵小金井駅を街の顔・玄関とするなかでも、自然</p>	<p>市内の美化活動に御協力いただきありがとうございます。市では、年に1度クリーン野川作戦 in 小金井を実施し、市内の野川全域を清掃し、植物観察会や外来植物駆除をしています。野川は東京都の管理する河川であるため、市の事業等はありませんが、イベント等でできることを今後も続けていくべきと考えています。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>豊かな緑地や野川の清掃活動の実施風景を市内外の人々へ積極的に伝える事も含めて取り組みをお願いしたいと思います。今後も自然と調和に期待します。</p>	
11	<p>基本構想 基本計画 (環境と都市基盤) (福祉と健康)</p>	<p>わが市は豊かな「みどり」と「水」が自慢。政策として日本一清潔なまちを目指すという高い目標をかかげてはどうか。</p> <p>そうなればわが市はゴミのないきれいな「まち」ということで全国的に知れわたると思う。</p> <p>わが市が安心して暮せるまちをめざすために一人暮らしの老人を見守る政策を検討してほしい。(一人暮らしの老人が急増。孤独死を防ぐためにも)</p>	<p>「みどり」や「水」は本市の強みであると考えており、そのような思いを込めて、小金井市の将来像に盛り込んでいます。</p> <p>また、市では高齢者等の見守りについて、「高齢者等の見守りに関する協定」を締結するなどの事業を進めていますが、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載せず、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>
12	<p>基本構想 基本計画 (環境と都市基盤) (行政運営)</p>	<p>私は生まれも育ちも小金井市で、住み続けて36年になります。</p> <p>市の基本構想を拝見いたしまして、近代的で今を捉えた内容だと、そして小金井市の最大の魅力である「緑の多い」「静かな暮らし」がある街を表現したものだと感じました。小金井公園の桜が咲き乱れる時、小金井街道の阿波踊りの時以外は、あまり盛り上がることもなく適度に自然を満喫しながら静かに暮らす、というのが一小金井市民としての誇りでもあり願いでもあります。</p> <p>市の基本構想は、主に、小金井の自然と静かな暮らしを維持するものと見受けられます。</p> <p>そうであるからこそ、市の基本構想に環境・文化・学習・経済面で全く相容れることがなく、そればかりか小金井の自然の代表格である「はげ」を破壊する都道の建設計画には市として毅然と反対し、融通無碍で効率的な発想で市の誇りを守るべきで、ひいては市民の信頼へとつながるもの</p>	<p>「みどり」のキーワードは、長期計画審議会での議論だけでなく、市民に意見を聴くワークショップ等でも、「みどり」の多い環境は魅力として捉えられています。</p> <p>本計画案では施策の方向性を示しており、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p> <p>再生可能エネルギーの導入については、温暖化対策として個人宅に再生可能エネルギー機器を設置するための助成を行っています。ICTやAIの活用についても、必要になってくると考えておりますので、こちらの御意見も、今後の検討において参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>と信じています。</p> <p>また、東日本大震災から断続的に各地に起こっている自然災害より電気の地産地消をある程度可能にすべく、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入を官民一体で推進することが必要と考えています。</p> <p>さらに市民へのフリーWiFi や IoT 導入などの IT の積極活用や、デジタルだけでなくバックアップとしてのアナログの最低限の機能維持など、覧古更新を常に意識し、温故知新の政策を期待するものであります。</p>	
13	<p>基本構想 基本計画 (地域と経済) (子どもと教育) (文化と生涯学習) (行政運営)</p>	<p>何ページ、どの項目、という指摘ではなく全体的な根幹部分の共通意識について、下記項目要素を含んだ計画作りを提案します。</p> <p>●インターネット社会・情報社会への対応 →首相官邸や都道府県でも、SNS を使った戦略を使用しています。今後、5G も導入され、さらにそのインターネット社会は加速します。</p> <p>すでに小金井市は、Twitter や HP などに取り組んではおりますが、総合戦略の細分化したカテゴリの一つの方法ではなく、最重要課題の筆頭として、明記した方がいいかと思えます。</p> <p>戦略例「インターネット新時代への適応・導入・挑戦」 具体的な施策例:「5G にも適用した市内公共 Wifi の整備」「光ファイバー導入補助金」「全小中学校のタブレット授業導入」「小金井市インスタグラム開設・情報発信」「市役所での手続き関係、全オンライン化」「小金井市マスコットによる YOUTUBE 開設」</p> <p>●グローバル社会への対応</p>	<p>審議会の中でも、社会潮流 (P. 11)として掲げておりますとおり、「人口減少と少子高齢化」「多様性の尊重」「情報化社会の進展」「持続可能な社会の構築」「安全・安心への意識の高まり」「地方自治の進展」を計画策定の前提と捉えて検討を進めてきました。</p> <p>御提案いただいた「インターネット社会・情報社会への対応」「税込アップ」は施策 29(P. 90)、「グローバル社会への対応」は施策 19(P. 70)、「次世代人材への投資」は施策 12～14(P. 56)、「小金井ブランディング戦略」は施策 28(P. 88)、「市民の積極的な市政参加」は施策 27(P. 86)に含まれるものと考えます。</p> <p>いただいた御提案につきましては、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>我が国も諸外国との交流が増え、小金井市も非常に多くの外国人の方が生活されており、中には、夫婦揃って外国人の方も多いです。</p> <p>戦略名：「多様性を温かく受け入れる土壌の整備」  具体的な施策例：「市役所や駅に英語堪能通訳の方を常駐」  「市役所や駅に翻訳機の設置」「市内の標識などに英語も併記」「外国人家庭への訪問支援（住宅探しや仕事探し、託児所探し、諸手続きサポート）」「外国人の日本語勉強への支援（補助金、日本語家庭教師支援）」</p> <p>●次世代人材への投資  少子化社会で、テレワークが進もうとしている昨今で、ベッドタウンであり、ファミリー層の流入が増加していることは、非常に強みです。「すくすく笑顔で育つ子供たち」のような漠然と何の中身のない記載ではなく、「教育」も「投資」と位置づけ、戦略を持って最重要課題とすべきです。「お金が無いから、補助金が出る他市へ引っ越す」「お金がないから2人目は産まない」など、そういった「補助・支援」が足りない理由で人材を流出するのは非常に惜しいです。</p> <p>戦略名：「次世代の人材への投資」  具体的な施策例：「出産祝い金として、1人目10万、2人目20万、3人目30万・・・」「育児支援金として、小学校入学まで、毎年1人につき、5万円給付」「保育園落選家庭は、1人につき毎月3万円給付」「アシスト付き電動自転車補助金」「英会話塾 支援金」（各家庭ではなく、塾に支給。月謝を下げさせる）「海外留学、ホームステイ支援・補助」※上記は内需を増やすため、「地域振興券」</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>にする、など。</p> <p>●<b>税込アップへの戦略</b>記載されている通り、財政は厳しい状況です。どうやって税金を増やすか、もっと明確に記載してもらいたいです。</p> <p>戦略名：「安定した財政基盤の新規構築・発展」  具体的な施策例：「さらなる教育機関の誘致」「ベンチャー企業誘致」「ふるさと納税返礼品の充実化」「空き地、整備地の商業・利益を目的とした有効活用」「市オリジナル商品の開発」</p> <p>●<b>小金井ブランディング戦略</b>  現在明記されている「小金井市の魅力」は、ありきたりで戦略としては非常に脆いです。</p> <p>「中央線沿い」「緑が多い」「住宅地」という事実を推していくだけでなく、「付加価値」を加えつつ、「長期戦略」として「小金井」をブランディングしていく。</p> <p>上記記載内容を特化するだけでも他市との差別化になり、知名度でも住みやすさでも全国屈指の「小金井市」となるかと思えます。</p> <p>戦略名：「” 小金井” ブランドの育成・強化・発信」  具体的な施策例：「特筆した施策にすべてに”KOGANEI●●”と命名」「有名他社商品とコラボした限定市内商品の開発・販売」「商品名に” KOGANEI” と入れて販売している店に、謝礼金支援」「有名大学・高校、有名企業本社の誘致」</p> <p>●<b>市民の積極的な市政参加</b>  近々の国政選挙での市民投票率は約56%市政（市長・市議会議員）選挙では、約40%です。</p> <p>もちろん全国的に同水準ではありますが、小金井市で言え</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>ば、6割（約72000人）の民意が届いていない市長・市議会で、市の運営をしているということです。</p> <p>そこに一切触れていないことに疑問も感じます。「投票するか否かは個人の意思に尊重される」と言えば聞こえは良いですが、「市民投票率の増加」してこそ、他の施策をやることの価値・意義があると思います。</p> <p>国政選挙へのモデルケースとなるよう、積極的に働きかけていくべきです。</p> <p>戦略名：「全市民の声を聴く」</p> <p>具体的な施策例：「まずは、市政選挙を、国政選挙と同等の投票率56%以上を目指す」「最終目標は、国政・市政ともに投票率70%以上」「市政選挙をYouTube、SNSを有効活用した積極的告知」「投票所を、駅前などの生活動線上に設置」「オンライン投票導入」「小学校・中学校、市内高校への、政治授業に対する支援・導入増加斡旋」「投票した人に、減税措置」「未投票者に、” 市政委託手数料” として課税」「投票した人に、地域振興券などを配布」「市政選挙告知ポスターに、有名人起用、PR活動してもらう」</p>	
14	基本計画 (環境と都市基盤) (行政運営)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はけの道を破壊する道路の建築はとり止めて頂きたい。</li> <li>・健全な財政を維持し過去の姿に戻らない様にして頂きたい。</li> </ul>	<p>本計画案においても、小金井市の魅力であるみどりについては、質の高いみどりの保全と、いかすことに努めることとしています。また、本計画では施策の方向性を示しており、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p> <p>健全な財政については、施策29において持続可能な財政運営の実現として記載しております。審議会でも、御意見と同様の趣旨を踏まえて、議論を重ねてきたところです。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
15	基本計画 (環境と都市基盤)	小金井市に住み始めて1年たちますが、良い街と感じる一方で、歩行の際危険を感じる事が多々あります。それは自転車です。歩道で自転車がビュンビュン走っており、あたりまえのように、歩行者にぶつかりそうになっています。ペットもぶつかりそうになっています。この状況が不思議でなりません。なぜ改善されないのでしょうか。怖くて仕方ありません。	これまでも市では自転車の安全利用については、交通安全教室を開催するなど、ルールの周知・啓発を行っているなど認識しています。施策7に盛り込み、方向性を示しております。
16	基本計画 (環境と都市基盤)	【施策5 住環境の整備】について 「宅地化の際の細分化防止」は是非ともよろしく願い致します。普通に1軒分かなと思う土地が4分割され、それぞれに庭も何もないとても狭い3階建ての家が建ったところがあったので、ぜひとも進めて頂きたいです。 10代後半と20代前半の転入が多い、と言うことについては、大学入学・就職で上京してきた人が小金井に住むのが多いのではないかと、思います。自分もそうで、新宿方面には中央線で一本、渋谷には井の頭線経由で始発駅で座っていける、家賃がお手頃、というところから小金井に住み始めました。30代前半の転出が多いのは、仕事の収入が増えて、より家賃の高い都心に移住しているのではないかと、思います。 今後小金井の人口が増えて地下が上がり家賃も上がると、今転入が多い年代の転入が減るかもしれないので注意が必要だと思えます。	市によれば、土地の開発の際には、宅地開発等指導要綱に基づき、区画面積など、事業者が遵守すべき必要な事項を定め、適切な指導に努めているとのことで、本計画案42～43頁にも盛り込んだ計画としています。 人口減少については、市においても、市の魅力を広く発信することで、誇りや愛着の醸成された多くの人から選ばれるまちを目指し、シティプロモーション基本方針の下、若年層にターゲットを絞った効果的な魅力発信を行うため、市民と連携する仕組みづくりに取り組む必要があると考えます。
17	基本計画 (環境と都市基盤)	【施策6 都市インフラの整備】日本 「無電柱化を推進します」は、ぜひともよろしく願い致します。	無電柱化は、地中の工事等が多く大変時間のかかり、進捗が見えづらい事業ですが、既に市は無電柱化推進計画を策定し、重点整備路線を定めて進めているとのことです。
18	基本計画	【施策7 交通環境の整備】について	現状、南北間の移動はバス以外の公共交通はございません



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	(環境と都市基盤)	<p>小金井市だけの問題ではないですが、南北の移動が中々億劫です。自分は大型楽器を所有しており、タイヤを付けて転がしながら移動しています。都心へ行く場合はそのまま電車に乗ればよく、特に問題は感じておりません。しかし、南北を移動する場合はバスに乗らなければならない、乗車の際、運賃箱の脇が狭くてとても通りづらい。乗ってからも他の乗客の邪魔にならないよう気を使うのが大変です。基本的にはバスには乗りたくないと思っています。車椅子の場合は運転手の方が介助されるのかもしれませんが、同じ様な気持ちかと思えます。具体的にどうすればいいというのは特に案を持っているわけではありませんが、一つの問題例として記載させて頂いておきます。広めの道路には自転車専用道路が整備されていますが、ほとんどの場合違法駐車がされており、自転車に乗っていると普通に車道の方へ出なければならないと怖いです。違法駐車の取り締まりを強化してほしいと思います。</p>	<p>んし、御意見のような状況も理解するところですが、現実問題として、市が行う事業は本計画案 47 頁記載のコミュニティバスの充実以外は難しいように感じます。</p> <p>違法駐車の取り締まりは警察の管轄ですので、本計画案に記載するものではありませんので御理解ください。</p>
19	基本計画 (地域と経済)	<p>【施策 1 1 都市農業の振興】について</p> <p>都市としても発展させ、観光地にし、住宅地も緑も豊かにし、農業までも頑張る、と全てを発展させようとするのは無理があると思います。お金の面的にも土地的にも。都心に比べたらまた農地とかある方かもしれないが、地方と比べてやはり東京は都会。農業は土地のある地方でやり、東京は産業を発展させる、など役割分担をしてそれぞれの特性を伸ばすべきだと思います。色々手を出そうとした結果、どれも中途半端になることを懸念しています。</p>	<p>都市農業とは、都市農業振興基本法に定めるものです。この法律の中で、消費地に近いという利点をいかした新鮮な農産物の供給というだけでなく、災害に備えたオープンスペースや農業体験、緑地の提供など、多面的な機能を持っている都市における農地の有効な活用や適正な保全を積極的に行わなければならないとされています。元々市内に農業者の方もいらっしゃいますし、農地の持つ様々な機能をいかしていくことは必要と考えます。</p>
20	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>私が特に気になっているのは環境と都市基盤ですので、それをメインに述べたいです。小金井市にはまだ緑があふれ</p>	<p>環境と都市基盤については、小金井市にはみどりが多く、都心と比べ自然が残りつつも、利便性は損なわない快</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	<p>(子どもと教育) (文化と生涯学習) (福祉と健康) (行政運営)</p>	<p>ているので、その自然の緑をこわさないように存続していかなければなりません。最近武蔵小金井駅前、東小金井駅前、現在の市庁舎近隣の再開発は顕著であり都市化が進んでいます。</p> <p>それらはそれなりに緑は設計されているけれども本当の緑は残していかなければなりません。思いおこすと、主として都市公園となっている小金井公園、野川公園、栗山公園など自然が残っているところも多くあり、今はまだ安心しているのですが、それらはずっと保たれていかなければなりません。又、玉川上水の整備も行われているようですが相変わらず、旧木やブッシュが多く自然を楽しむには少し難しいところです。近隣の他市も同様だと思うのですが、主要幹線道路はととても狭くて危険を感じることがありそうです。</p> <p>子ども教育について幼児期、少年少女期、青年期を通しての教育体制について小金井市は環境的にはよい方だと思います。けれども希望する者が希望する教育を受けられるよう市政として経済的支援することがもっと必要でしょう。</p> <p>福祉・健康について市が国保にもとづく健康診断、その他検診など、介護制度などよい状態だと思うので、この状況を維持していくことが必要でしょう。</p> <p>行政運営については、小金井の人口など規模に応じた人員数での運営が求められるべきでしょう。</p> <p>文化と生涯学習について 市政の事務について、より多くの年齢層の市民を雇用して、活力を支えることは、市政にとっても、その人たちに</p>	<p>適なまちづくりを進めていくことが重要だと認識しております。御意見と同様の趣旨を踏まえ議論を重ね、本計画案では、施策1みどりと水の環境整備において、施策の方向性「みどりと水の保全」「既存公園・緑地の新たな活用」にみどりを大切にする姿勢が込められています。</p> <p>交通安全の推進のため、危険を感じる道路など、利用する市民の声を参考に適正な安全対策に努めることが大切だと考えます。</p> <p>子どもと教育について、経済的支援が必要である旨の御意見をいただきました。子育て家庭を支えるための経済的な支援や学生・生徒に対する就学機会の確保など、様々なニーズに応じた支援を検討していくことが必要であると考えます。</p> <p>福祉と健康については、引き続き健康診断などの事業を継続しつつ、私たちが健康で質の高い生活を送ることができるよう、施策を充実させていくことが必要だと考えます。</p> <p>行政運営については、御意見の趣旨と同様に、持続可能な行財政運営を実現するため、歳入の確保及び歳出の適正化を図ることが重要であり、人員についても、その中で検討していくことが必要と考えます。</p> <p>文化と生涯学習について、職員の任用には公平・公正の観点で採用していく必要があると考えますが、事業の推進に当たっては、御意見の趣旨と同様に、多くの市民、特に若い世代の方に様々な形で関わっていただくことが大切だと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
21	基本計画 (環境と都市基盤) (子どもと教育)	<p>とつてもそして文化の継承のために必要だと思えます。</p> <p>【施策12 子どもの育ちの支援】について          ちょっと前はよくニュースで、保育園等の建設を反対するお年寄りや苦情が来るからと全てを禁止して何も遊べなくなった公園、などの話が出ていました。小金井はそういった自分勝手に子どもたちのことを考えない人たちがいない街にしたい。</p> <p>「③子どもの権利の保障」にある通り、市民一人一人の心構えが大切なので、何かそういった啓蒙活動を特に頑張ってもらいたいと思えます。</p> <p>路上や隣の家の庭で喫煙している人がいるとどうしても副流煙の子供への影響が気になってしまいます。</p> <p>路上喫煙は全面禁止にしてほしいです。</p> <p>家庭での喫煙も隣家へ迷惑をかけないようガイドライン的なものを出してほしいです(禁止できれば一番ですが)</p>	<p>市では、昨年、小金井市子どもの権利に関する条例制定10周年記念事業を実施し、子どもの権利に関する条例の周知に努めていると認識しています。</p> <p>副流煙の問題については、不快な思いをする人がいなくなるよう、啓発を続けていくことが大切だと考えます。</p> <p>路上喫煙については、平成14年に開催された青少年議会で、中学生の方から、友達が大人の歩きたばこなどでやけどしたり、服が焦げたりという危険な目に遭ったということで、できるだけ人通りが多くて、人の集まるような場所については、たばこが吸えないようにしてほしいという意見を発端にして、平成15年12月1日から市内の駅を中心としたエリアが路上禁煙地区に指定され、いわゆる歩きたばこの全面禁止については、「まちをきれいにする条例」の第10条第1項に基づいて規定されており、それを尊重すべきと考えます。</p>
22	基本計画 (子どもと教育) (福祉と健康)	<p>【施策13 子育て家庭の支援】について          小金井在住ですが、子供は杉並区で産みました。</p> <p>理由は無痛分娩24時間対応している病院があったから。そういう病院が小金井にあったらより充実していると思ったと思えますが・・・じゃあ、すぐにそういう病院を検討してほしいかという、他にもっとやった方がいいことはあると思うので、あくまで一例として記載させていただきます。</p> <p>「妊娠、出産、子育ての不安や悩みを周囲の人々や行政の窓口で相談しやすい地域であると思う」とかという、対して近所付き合いはないので「小金井の」周囲では大してそ</p>	<p>市では、育児を自信と喜びにつなげていくことができるような援助として、生後120日までの赤ちゃんのいる御家庭を対象に新生児訪問指導(こんにちは赤ちゃん事業)を実施しているそうです。こうした母子保健活動については、今後更に充実していく必要があると考え、本計画案では85頁に記載しています。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>う思わないのが実情です。相談する友人はいますが、それは小金井の人ではありません。</p> <p>出産後に一度だけ助産師の方が訪問していただけますが、あれはとてもありがたかったので、もっと訪問回数を増やしてもよいかと思います。家の環境も含めて直接見てアドバイスを貰えるととても助かります。</p>	
23	基本計画 (子どもと教育)	<p>【施策16 学校環境の整備】について</p> <p>私には就学している子供はいないため小金井市の学校のIT化の状況は存じていないのですが、仕事で学校に提供するサービスをやっているの先生と接する機会があります。</p> <p>そこで思うのは学校の先生のITに対する知識のなさです。</p> <p>専門にやっているわけではなく、またこれまで必要なかったから仕方ない面がありますが、例えば、URLって何ですか？とか言われたりするレベルなのが現状です(東京のある地域の状況です)。</p> <p>ICT機器の充実、プログラム教育の必修、とありますが、そのような状況だと機器を活用できないと思います。</p> <p>プログラム教育など何のためにやっているのか何がよいのか分からないまま退屈な授業をしてしまうことを懸念しています。</p> <p>まず先生たちが正しく知識をつけてもらえるようできることを検討してもらえればと思います。また、ただやることが増えるだけだと先生たちの負担が増えるだけなので、現状の業務の見直しも必要です。</p> <p>なお、ITリテラシーのなさは保護者も同じです。</p>	<p>ICTを活用した教育推進プランとして、小金井GIGAスクール構想を掲げており、その中で、新しい授業を創造する教師を目指すこととしています。教育資源の情報化を行い指導事例や教材等の共有などを通して指導力の底上げを図ることとしています。そのためには、御指摘いただいたように、教員の授業力向上は必須であり、明日の小金井教育プランの重点施策として引き続き取り組んでいく必要があると考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		保護者も利用するものである場合、保護者の IT リテラシー向上も課題です。	
24	基本計画 (文化と生涯学習)	<p>【施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重】について日常生活において男女が平等であると感じる市民の割合(アンケート) 36.6%</p> <p>→残り 2/3 の人に、具体的にどこで感じないのか聞いてみたい。</p> <p>仕事や家庭内ではそういったことがあるかもしれないが、それはその会社・家庭で解決する問題であって、市がわざわざやる話ではないと思います。</p> <p>そういう場合を含めての回答だったら、アンケート方法を見直した方がよいと思います。</p>	男女共同参画社会を実現するためには、学校、家庭、職場等のあらゆる場面で、一人ひとりが男女平等意識をもつことが必要だと考えます。そこで、施策 19 の進捗確認として、日常生活における男女平等意識の普及・浸透を測るアンケート指標を設定しております。
25	基本計画 (福祉と健康)	<p>【施策26 健康の維持・増進】について「食育の取組で、主食・主菜・副菜がそろっている栄養バランスの取れた食事に気を付けている市民の割合=80%」</p> <p>→にわかには信じがたい高さです。</p> <p>アンケート回答者の年齢分布は人口分布と一致していますでしょうか？</p> <p>年配の人に偏ってはいないでしょうか？</p> <p>具体的な根拠は持ち合わせておらず、偏見かもしれませんが、学生や独身単身者が多い世代では気にせず好きなものを食べている人が多い気がします。回答者が偏っている場合、指標として使って問題ないか見直す必要があるかと思えます。</p>	アンケートは、年齢等に偏りが生じないように配慮した上で、無作為で抽出した市民の方を対象としています。また、本アンケート項目につきましては、本人がそのようなことを意識しているかどうかを問う設問です。
26	基本計画 (行政運営)	<p>【施策27 市民参加・協働の推進】について</p> <p>不満がある人は声が大きいです。満足している人はわざわざ意見を言わないです。苦情があったからと言って、その</p>	市民参加・協働の推進について、御意見の趣旨と同様に、的確に市民ニーズを把握することが重要だと認識しております。市では、重要な施策又は課題について、必要があ

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>声に惑わされて不必要な政策を行ってしまわないよう要望します。</p> <p>本当に市民全体が同じ様に不満を持っているか、持っていなかったとして本当にその意見が必要なのか、確かめて頂ければと思います。</p> <p>「④町会、自治会などの加入率の促進」アパートに一人暮らしをしていた間は自治会に入る必要性は全く感じず入っていませんでした。</p> <p>入る意義・メリットがわかりませんでしたし、役職などを持たないといけないのが面倒くさい、また引っ越すから、と思っていました。</p> <p>結婚して、さらに家を持って初めて加入しましたが、さらに子供が出来て、やっと加入しておく意味があるかな(子供と地域のイベントに参加するだろうから)、と思ったところでした。</p> <p>自治会に加入すると、未だに紙の回覧板が来ます。</p> <p>来た頃には書いてあるイベントが終わっていることもあります。</p> <p>そして、次に持っていくのが面倒くさい……。</p> <p>若い世代にはこう言うところも参加しにくい要因です。</p> <p>地域も学校と同じく IT化をすすめるべきだと思います。</p> <p>スマホは普及率が7割とのことでこれからも増えます。</p> <p>回覧板に関して言うと、せめてメール、もしくはそれに変わるシステムを使えるようにした方が若い世代には受け入れられやすいと思います</p> <p>(お年寄りから苦情が出るかもしれないですが)。</p> <p>既に導入されているマチマチを各地域に導入してうまく</p>	<p>ると認められる場合は、市民の意向調査などを実施しているとのことでした。また、調査の対象者を無作為抽出するなど、意見に偏りが出ないように、適切な方法を選択しているとのことでした。</p> <p>町会、自治会の在り方について、具体的な取組は個別事業の中で検討していくこととなりますが、関係者のそれぞれの意向も踏まえつつ、時代に合った取組を検討していく必要があると考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		利用できないのでしょうか？	
27	基本計画 (行政運営)	【施策28 積極的な情報発信】について マチマチに登録しています。マチマチでも情報を発信されているのはとてもいいと思います。このパブリックコメントの件もマチマチで知りました(その後、市政報でも見ました)	積極的な情報発信については、引き続き、効果的な方法で実施することを本計画案の施策28でも表現しています。
28	基本計画 (環境と都市基盤) (行政運営)	①新庁舎使用の件 中央収集を改め現在ある公民館等を活用すべき ②都市計画道路 自然と都市が調和と矛盾する3、4、1と3、4、11号線計画は撤回せよ 環境と都市基盤 自然と都市が調和した人に優しいまち ←矛盾する	いただいた御意見については、個別に検討が必要な事業となりますので、本計画案では定めておりませんが、事業を進めていく上での参考として、市へお伝えさせていただきます。
29	基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)	16 ページ以降の「いかそうみどり」に関連して、ご意見申し上げます。新型コロナウイルスの影響で、身近な自然に触れる機会が多くなりました。特にハケ周辺の自然は貴重であると感じます。そのハケを壊す道路計画は、何としても阻止すべきです。地理学者の貝塚爽平先生のお言葉を借りるまでもありませんが、ハケは日本人全体の財産です。東京都だけの都合で改変することは許されません。次に、生産緑地の問題です。2022年以降、大規模な宅地への転用が予想されます。現に、念仏坂では開発が始まっています。生産緑地については市区町村の方針が今後を左右すると聞いておりますので、ぜひ将来構想に含めていただきたいと思います。更には、農地の宅地化です。相続が発生する度に、農地が何の変哲もない小宅地へと変貌します。「風景」を守ることは、その土地を守ることに直結し	「みどり」については、市民意向調査やワークショップ等でも小金井市の魅力として挙げられ、審議会でも議論をしております。はけは小金井市の魅力の一つとして重要と考えています。生産緑地の保全についても重要と考えておりますが、土地所有者の意向もあり、非常に難しい問題です。いただいた御意見については、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>ます。我が家では、少額ではありますが日本ナショナルトラスト協会へ寄付を行っております。個人所有の農地につきましても、ナショナルトラストの様な仕組みにより護る方法がないのか、ご検討いただけると幸いです。小金井市では様々な樹種の樹木を見ることができ、「武蔵野コツウウォルズ」の名に相応しい美しい街です。いつまでも、この自然が残ることを祈っています。</p>	
30	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>緑を増やす事は、緑地を保全しなければ実現しません。現在の土地所有者が、マンションなどにとって変わられてしまします。どの様にすれば良いかは、土地所有者の事情にもかかわる事なので答えは簡単ではありません。</p> <p>個人としては、一鉢でもベランダなどで花など(野菜も)を育てる事で小さな活動を続けていく事が大切と考えます。新型コロナウイルスによって人々の生き方、考え方が大きく変わった今一人一人の生き方が今後の社会を創り上げていく事になる事を真剣に考える必要があります。</p>	<p>緑地の保全については、御意見のとおり、土地所有者の事情や意向に関わるもので、非常に難しい問題です。いただいた御意見については、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を検討する上で参考としていくべきものと考えます。</p>
31	基本構想 基本計画 (全般) (子どもと教育) (福祉と健康) (行政運営) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉 生産性及社会貢献度が無い老人に、安易に予算を使うな。辛うじて動いている老人を毎日、車で送迎している。格好つけてやっていたら良いという方針にメスを入れよ。</li> <li>・次の世代、子供に金を使え。男女共に一人親の家庭に手厚い保護をお願いしたい。</li> </ul> <p>基本計画、総花的で全く実が無い。 こんな、どうとでもとれるようなお題を並べて、税金を使うなど腹がたつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市会議員5名削減。できなければ手当1/3カット</li> <li>・各種委員会の半減。手当はゼロにすべき。</li> </ul>	<p>高齢者の方については、社会参加や自立した生活のため、必要な施策を検討することが必要と考えられます。歳出の適正化を図り、効果的な施策を検討していくことは、分野を問わず、当然のことと認識しております。</p> <p>基本構想・基本計画は、市政活動の総合的かつ計画的な取組の指針となるものであると考えます。いただいた御意見も参考としながら、事業を進めていくべきものと考えます。</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
32	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>「東大通りのどまん中の道路整備について」是非緊急にご対応されたい。</p> <p>毎日の大学生、高校生、中学生の通学や、幼児を乗せた母親の自転車の通行にも支障があるのにこれを「二個のブロック塀」が塞ぎ、妨げている。</p> <p>■■■■■は、如何なる考えなのか。理解に苦しむ。</p> <p>市(都)の都市計画(避難等)より、自己の土地所有権が優先するとでも思っているのだろうか。</p> <p>通学生、生徒や懸命な母親のためにも、相応のご処置を願いたい</p>	<p>御意見の箇所は都道であり、東京都の管轄の道路となりますので、直接市が指導等する立場にはございませんが、市としても都市計画道路の整備進捗は、利便性の高いネットワーク構築に必要なことと認識しています。御意見は市に伝えさせていただきます。</p>
33	基本計画 (環境と都市基盤) (地域と経済) (文化と生涯学習) (行政運営)	<p>p. 36：施策2 循環型社会の形成</p> <p>市立小中学校の生ゴミコンポスト化装置に、給食のない日に市民の生ゴミを受け入れる体制について、前原町学校などでは夏休みは市の事業として見守りの方々にボランティア保険のサポートを行っているが、土曜日については対応がさなれていない。ボランティアの主体性を尊重しながらも、市として制度的に位置づけてほしい。ボランティアの高齢化が進んでおり、市民へ参加呼びかけを行う必要がある。</p> <p>p. 38-43：施策3 環境保全の推進、施策4 市街地の整備施策、5 住環境の整備</p> <p>市民が具体的な提言を行えるように、市民自身が現状を把握する必要がある。市が主催して「まち歩き」のイベントを四季おりおりに開催し、環境や市街地に点在する魅力と問題点を発見し、提言できるようにして、市政の発展に役立ててみてはどうか。</p> <p>p. 47：施策8 防災態勢の整備</p>	<p>生ごみの減量及び資源化については、審議会の議論の中でもその重要性を認識して議論を進めてまいりました。具体的な取組課題については、個別計画の中で整理していく必要があると考えますので、日頃御協力いただいている方からの貴重な御意見として市へ伝えてまいります。</p> <p>「まち歩き」「防災」「国際交流」に関する具体的な御提案や御意見につきましても、今後 施策を推進していく上で参考とさせていただくべきものと考えております。</p> <p>教育機関との連携につきましては、現在6校と協定を結んで分野を限定せず御協力いただいております。本計画案の中でも連携をいかした行政運営として施策 29(P. 90)に記載しております。具体的な取組の御提案につきましては、個別に検討していく必要があるものと考えます。</p> <p>また、若者の市民参加につきましては、市の附属機関である市民参加推進会議でも提言が出されるなど、課題として認識されており、本計画案の策定に当たっても、若者世代の市民参加に力を入れてきたところです。指標について</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>はけの上と下とでは、減災対策の質が異なると思われるので、全体的な見直しが必要と感じられる。たとえば避難場所として前原小学校が指定されているが、野川の上という立地から避難場所として問題がある。また、防災広報の拡声器の音声が、場所によっては聞き取りにくい。全市でアンケートなどを実施して、状況を把握する必要がある。</p> <p>p. 65-67：施策17 芸術文化の振興、p. 73-74：施策20 生涯学習の振興</p> <p>市内には漫画家やアニメーター、文筆家、大学教員などが在住しており、こうした方々による文化振興有識者会議などを設け、具体的な提言を仰いでみたらいかがか。市内には東京農工大学・学芸大学があり、隣接して亜細亜大学・東京経済大学が立地している。これらの大学関係者との連携を図り、市民大学を開催するなどの試みも考えられる。</p> <p>p. 68-69：施策18 国際交流・都市間交流の推進</p> <p>市在住の外国の出身者に、出身地の文化を紹介してもらうなどの交流会が考えられる。</p> <p>p. 86-87：施策27 市民参加・協働の推進</p> <p>具体的な達成指標として、若年層（18～25歳）の市長選挙・市議会選挙などの投票率を調査し、その向上を目指すべきである。市内在住・通学の大学生に対して市の行政に関わるインターンシップを募集したり、市内在住の高校生を主体とする模擬市議会を開催したり、市内の中学校で主権者意思向上の授業を行うなどして、若年層の市政に対する関心を高めとともに、若年層の柔軟な発想を市政に反映させることが考えられる。</p>	<p>は、31頁の施策の構成にあるとおり、毎年度の進捗管理に適したものを設定しており、選挙については触れておりませんが、一つの重要な数値として捉えるべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
34	基本計画 (環境と都市基盤) (地域と経済) (子どもと教育) (行政運営)	豊かな自然と知性が育つ市をめざして。 小金井市の魅力 - 自然がのこっていそう - こそだてによさそう 小金井市の懸念 - リタイア組、生活保護者の増加 - 通勤が不便。地方から人がこない - 若い世代の流出 - 財政難のイメージがある - 郊外のわりに土地が高い ===== ・武蔵小金井北口 ロータリー前の老朽化ビル～小金井街道～小金井公園までの緑地化。 (市役所のあるメイン駅前緑が少なく「みどりが萌える」の説得力が薄いため) ・小金井市 WEB サイトの改修 (小金井公園や自然の豊かさ、こどもたち、など、ビジュアルを使用) ・駅近隣の古い集合住宅の清掃、耐震等の料金を補助 (地域の美化) ・空き家の整理 (地域の美化) ・土地利用 農業と IT を組み合わせた研究所設立を企業提案。 (自動化・生産量のアップ・作業負担軽減) 市営の駐車場。駐車場代を近隣地区より大幅にさげる。	小金井市の魅力 自然環境と利便性が調和した、快適で人にやさしいまちを引き続き目指しており、市民意向調査でも魅力として挙げている方が多い項目となります。  小金井市の懸念 高齢者・生活保護受給者の増加については、支援が必要な方に対して適切な支援を行うとともに、生きがいの創出や就労支援も行う旨、施策 22～24 に記載しています。 市では、市の魅力を広く発信することで、誇りや愛着の醸成された多くの人から選ばれるまちを目指し、シティプロモーション基本方針の下、ターゲットを絞った効果的な魅力発信を行うため、20 歳代後半から 30 歳代までの市民や学生と連携する仕組みづくりに取り組んでいると考えます。 財政については、引き続き厳しい状況の中で計画的な行財政運営を推進し、歳入確保・歳出適正化など行財政改革に努めるよう、施策 29 に記載しています。  武蔵小金井北口 武蔵小金井駅北口の再開発については、施策 4 に記載しています。  小金井市 WEB サイトの改修 御意見のようなお考えもあろうかと思いますが、基本構想・基本計画は大きな方向性を示すものですので本計画案 89 頁において広報活動の充実、という記載をしています。

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>企業カーシェアを誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育施設の充実および制度の改革</li> <li>・ テレワーク家族に期間付き補助金 (若い世代の流入喚起)</li> <li>・ 情報格差をなくす</li> </ul> <p>10年～20年後には端末がつかえない層減っている。市全体でIT、効率化。 余った人員を高齢者等の対応へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育一律化の脱却</li> </ul> <p>専門性のより高い授業をオンラインで。 (小金井市内の教育委員会、私立各校と協力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の防災訓練の義務化</li> </ul>	<p>駅近隣の古い集合住宅の清掃、耐震等の料金を補助 一定の基準を設け、木造住宅や特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成事業については、既に市では行っているとのことです。</p> <p>空き家の整理 市では空家等対策計画に基づき、特定空家等対策を進めています。</p> <p>農業とITを組み合わせた研究所設立を企業提案。 前向きな御提案と捉えますが、市内で行われている都市農業のボリュームからは、都市農業の維持が課題であり、本計画案55頁に記載したような方向性としています。</p> <p>市営の駐車場。駐車場代を近隣地区より大幅にさげる。 市によれば市営の駐車場料金は、受益者負担の考え方に基づき適切な金額を設定しているとのことです。</p> <p>企業カーシェアを誘致 誰のためのカーシェアリングかにもよるかと思いますが、有用な面もあろうかと思いますが、ただし、基本構想・基本計画では方向性を記載するものですので、個別具体の事業について本計画案に記載しておりません。</p> <p>保育施設の充実および制度の改革 市では、「のびゆくこどもプラン 小金井」等に基づき、</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
			<p>待機児童解消に向けて努力を続けているとのことですので御理解ください。</p> <p>テレワーク家族に期間付き補助金 新型コロナウイルスへの対応として有効な施策と考えますが、公平性・公正性の確保等の観点から慎重な検討は必要と思われます。基本構想・基本計画では方向性を記載するものとしておりますので、具体的な補助金については記載しておりません。</p> <p>情報格差をなくす 行政事務のデジタル化などは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり今後ますます進展していくものと考えられます。情報格差対策の必要性は認識しており、本計画案91頁にあるICTの更なる利活用の取組の中で進めていくものと考えています。</p> <p>教育一律化の脱却 オンライン授業では、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において、子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となります。また、オンライン授業のメリットは、個に応じた学習を提供できること、子どもたちが学校に登校していなくても学習ができること、学校が子どもたちとのつながりを継続できることなどが挙げられます。コロナ禍において臨時休校が実施されましたが、どのような環境下でも学びを止めない環境を整</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
			<p>えるためには、オンライン環境を整備することは早急に必要であると考えます。引き続きICT機器や環境整備を進め、様々な運用方法を検討していくことが求められます。</p> <p>地域の防災訓練の義務化            防災訓練は市で行うもの、地域のもの、マンション主催のものなど多様なものがあります。元々自助・共助の取組であり、義務付けをするものではないと考えますが、その充実と、地域防災力の充実などに向けた取組を本計画案 49 頁に記載しています。</p>
35	基本計画 (環境と都市基盤) (子どもと教育)	<p>&lt;施策2 循環型社会の形成について&gt;            環境に配慮することはとてもよいと思います。しかし、ゴミの分別が厳しすぎる為、デメリットになっています。”小金井市住みごこち”と検索すると、上位にゴミ分別が厳しすぎとすぐ出ます。これでは転入を考えている人が少くなります。せめて他市と同じように、汚れのとれないプラスチックは燃えるゴミにというような緩和をお願いします。</p> <p>&lt;施策4 市街地の整備について&gt;            以前住んでいた京王線の駅より駅周辺が充実していると思います。パン屋が何軒もあったり、マック等飲食店が充実しているのは強みです。もっとアピールしてよいと思います。</p> <p>&lt;施策16 学校環境の充実について&gt;            小金井1中の制服を変えてあげてください。私は1中の卒業生です。2中等の中学は格好いい制服なのに今だに、開校当時と同じ制服はかわいそすぎます。制服も充実した生活</p>	<p>ごみの分別については、他市と比べ皆様には多大なる御協力をいただいております。小金井市は長らく広域支援先に燃やすごみの処理をお願いしてきたため、他市よりも一層のごみの削減、分別に力を入れる必要がありました。日野市内にある浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の稼働後も、施設周辺にお住まいの皆様及び関係者の皆様の御負担を軽減するため、ごみの削減は必要であり、重要です。そのため、今後ごみの分別等によるごみの削減に御協力いただきたいと思います。</p> <p>駅周辺のにぎわいの魅力発信と、市内中学校の制服に関する御意見については、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		を送る為に必要です。	
36	その他	<p>■基本計画とSDGsの関連づけについて</p> <p>国連にて定められた国際社会共通の目標「SDGs」は、人口減や稼ぐ力の減衰、そして住みよい環境づくりといった地方公共団体が抱える課題解決の考え方に合致し、昨今においては、内閣府を通じて地方公共団体へ共有され、これを推進するよう求められていることはご承知の通りです。</p> <p>さて、今回公表された第5次小金井市前期基本計画を理解するにあたり、一通りの資料に目を通しましたが、動画による説明スライドの第8の項目「SDGs」において、「小金井市でもその実現を目指し、前期基本計画の施策をその目標に関連付け、推進してまいります」と明記されているにもかかわらず、本計画の本文にSDGsの文字はなく、施策との関連付けが成されていませんでした。</p> <p>私は、市民一人ひとりがSDGsを意識することで地域の課題を解決していくという考え方こそ、これからの持続可能な社会（市政）に必要であり、それには市民自らが「自分にできること」を探せる環境（施策とSDGsを関連付け、明示すること）が必要です。</p> <p>本計画とSDGsの関連付けについては、上記の通り市より明言されていますので、これは踏まえるべきであると考えます。</p> <p>以上</p>	<p>御意見いただいたとおり、地域の課題の解決には、市民一人ひとりがSDGsを意識しながら地域課題に関心をもつことが必要だと考えます。</p> <p>施策とSDGsの関連付けについては、この度のパブリックコメントの参考資料にもございますとおり、本計画案の巻末に一覧表を掲載する予定です。</p>
37	基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)	<p>1. 人口減少と都市間「生き残り競争」の熾烈化</p> <p>日本は総人口減少というかつて経験したことのない時代に突入し、今後、我々は多くの劇的変化に直面する。これまで、地方の過疎化を横目に比較的順調な発展を遂げてき</p>	<p>いただきました御意見のとおり、市にとって「みどり」は重要な魅力の一つです。市民の意見を聴くワークショップや、市民意向調査アンケートでも、多くの市民に、豊かな自然を魅力と感じると回答をいただいております、将来像な</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>た大都市圏に於いても、都市間の生き残りをかけた競争が熾烈化することは必至だ。人口減少に加え、今回のコロナ禍を経た環境・生活様式の変化（都市機能分散・テレワーク等）は、その競争に拍車をかける。都市は「勝ち組」「負け組」へ2極化、「負け組」は凄まじい人口激減、街の荒廃に見舞われ、その差は歴然としたものとなる。</p> <p>2. 「勝ち組」となるための条件 我々の街小金井は言うまでもなく、「勝ち組」として生き残らねばならない。そのための条件は何か。それは、他の競合都市を凌ぐ魅力を持つことであり、しかも、それは「圧倒的」なものでなければならない。「都心部に近い」「子育て環境が良い」「安心・安全」「福祉・健康、暮らしやすい」等は勿論重要だが、それらはどの都市も目指すことであり、それだけでは「圧倒的」とはならない。多くの人が、数ある選択肢のなかで「圧倒的な魅力」を感じ、是非この街に住んでみたいと思うような特長を持ち、それを積極的に訴求していく必要がある。</p> <p>3. 小金井市の魅力 このように見ると、他都市との比較において当市が「圧倒的な魅力」として自信を持って誇れるものは、言うまでもなく「豊かな自然」である。都心近郊にありながら、人工的なものではなく、昔から残されてきた豊かな自然環境が当市の最大の魅力である。無機質化が進む都市環境のなかで、豊かな自然は今後益々貴重になり、安らぎやより良い子育て環境を求める人々はその大切さをより意識するよ</p>	<p>どでも表現しています。</p> <p>都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、利便性と環境保全に関わりますので、熟慮が必要な問題と考えております。本計画では施策の方向性を示しており、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>うになり、その資源を有する街の魅力は一層高まるであろう。当市は、豊かな自然環境という「圧倒的な魅力」を積極的に訴え、多くの人が住みたいと希望する街とせねばならない。</p> <p>4. より広い視点に立った自然環境保護の重要性  東京都は、世界における環境先進都市を標榜、街創りを推進している。高度な都市機能と豊かな生活環境を併存させるなかで、近郊都市である当市は、良質な居住地域、安らぎを提供する場として機能することが役割である。そのためには、恵まれた豊かな自然を一層活かすことを通じて、都市構想の一翼を担わねばならない。</p> <p>また近年、世界では過去への深い反省から SDGs が共通目標となり、自然環境保護は重要課題と位置づけられている。人による自然環境破壊が異常気象、自然災害、疫病等の主誘因の1つとされ、それが地球上の多くの生命体へ存続の危機を齎している。自然環境の回復が強く叫ばれるなかで、更なる自然破壊は到底許されるものではない。</p> <p>(因みに日本政府としても、6月12日に閣議決定された「環境白書」で初めて「気候危機」という言葉を明記した上で、小泉環境相は「気候危機宣言」を念頭に、環境・気候問題に関して「政府全体として危機感を高め、取り組みを強化することにつなげたい」としている。)</p> <p>5. 「第5次構想」に対する意見、要望  以上のような認識に立つと、市から示されている「第5次構想」における「政策の取り組み方針」は、「将来像」「6</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>つの取組方針」とともに、当市を一段と魅力ある街としていくために極めて妥当だと考える。従って、これを如何に実行計画に落とし込み、確実に実現していくかが重要だ。しかし、上記のように当市が「勝ち組」となり、継続的に成長、発展していくためには、他都市にない当市の「恵まれた自然環境」という「圧倒的な魅力」を十二分に生かしきらないと、魅力ある街創り構想全てが画餅に帰す結果となることは明白だ。当市の持つ自然という財産を更に生かす工夫が必須であり、況やそれを棄損するようなことは、断じて回避せねばならない。その意味で、これまで都が推進姿勢を崩していない計画道路（3・4・1， 3・4・11）などは、自然環境に壊滅的な影響を与える最悪例であり、市、市議会、市民が一体となってこれは阻止せねばならない。</p> <p>当市の持つ魅力を盤石なものとし、そのうえで6つの方針を確実に実行し、多くの人から選ばれる街にしたいと強く思う。</p>	
38	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>毎土曜の生ゴミステーション活動をしています。家庭から排出されるゴミの原料及び資源かにむけて、発生抑制を最優先した3Rの推進に取り組んでいます。</p> <p>夏休み期間中、生ゴミが市の事業として行われてきました。</p> <p>これは市と市民が協働で行っている燃やすゴミ減量対策の数少ない事業の典型的なものです。ところが同じ条件である土曜生ゴミ回収については正式な市の事業として市が認めていません。</p>	<p>生ごみの減量及び資源化に具体的に取り組んでいただき、ありがとうございます。私たちが一体となり、家庭から排出されるごみの減量・資源化に向けて3Rを推進していくことが重要であることは、審議会でも議論を重ねてきたところです。具体的な取組における課題については、個別計画等の中で整理していく必要があると考えますが、本計画案にもありますように、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」を目指して私たちにできることを考え、取り組んでいくことが大切だと認識しております。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>生ゴミステーションにかかわるボランティアグループでは毎週土曜と夏休みの回収事業に区別なく行っておりますが</p> <p>市はこれに対して土曜の活動支援、事業化に積極的な意向を示していません。なぜ夏休みだけで土曜回収にできないのか、理由をおきかせください。</p> <p>万が一、事故・災害などの問題が生じたとき、市は責任を取らずボランティア有志に全面的に押しつけるのは言語道断ではないか。</p>	
39	基本計画 (行政運営)	<p>町興し企画プラン案</p> <p>A・桜の町ミニシネマコンテスト (ユーチューブ動画)</p> <p>目的 他市へのアピールと他市からの来訪者による経済的効果を生むため</p> <p>B・イベントにこきんちゃんゆるキャラ着ぐるみ登場させる</p> <p>目的 子供たちとの交わりのため</p> <p>以上二案</p> <p>A案補足</p> <p>15分程度の動画</p> <p>必ずワンシーンに「桜の木」を入れる</p> <p>入賞者 数名 宮地楽器ホール等上映会</p> <p>審査員 もしできるなら(難しいでしょうが) 宮崎先生</p> <p>テーマは先生に決めて頂く</p>	<p>まちのブランディングによるイメージや認知度の向上と、今ある資源から新たな魅力を創出することで生み出される、市民の愛着や誇りの醸成に係る取組であるシティプロモーションについては、施策 28 積極的な情報発信 (P. 88) に位置付けられております。</p> <p>御提案いただいたイベント等の一つ一つのアイデアについては、個別に検討を要する事業となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>
40	基本構想	<p>1. 環境と都市基盤</p> <p>(1)豊かなみどりと水の保全と活用</p> <p>(2)環境に優しい循環型…</p> <p>(3)魅力的で快適な、人に…</p>	<p>政策の取組方針は、どれも重要なものであり、ここで序列をつけることは考えておりません。また、ナンバリングを行うことで、序列に見えてしまう懸念もあり付しておりません。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>2. 地域と経済  (1)自助・共助・公助の…  (2)  (3)  ・  ・  ・  6. 行政運営  (1)  ・  ・  ・  (3)みんなから愛される…  ↓  →このようなナンバリング（重要性の序列ナンバー）を付していただけますか。  そもそも全部で何件のアイテムが記載されているのか、それらの重要性の序列かどうなのか、etc が一目でわかるから。原案にはそれが無いので単なる羅列。</p>	<p>なお、計画全体の記載順は、継続性の観点から現行計画と基本的に合わせており、政策の取組方針の順番も概ね施策の掲載順となりますが、確認したところ、一部、「行政運営」の掲載順が、基本計画の掲載順と結果としてずれてしまっておりますので、修正を検討させていただきます。</p>
41	基本計画 (文化と生涯学習)	<p>芸術文化の振興に関して 1 点検討して頂きたいことがあります。  大型楽器等の利用  小金井市内の中学校等にある大型楽器について、市内で活動する一定条件に合う社会団体等が借用ができるような環境が作れないか、検討していただきたいと思います。  現状、老朽化が進んでいる楽器を利用して頂くことに関しては音楽科の先生のご厚意によって成り立っているこ</p>	<p>いただいた御意見につきましては、個別に検討を要する内容となるため、本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>とは重々承知しております。こういう所がクリアすれば小金井市内で音楽団体が益々増えて市民力、地域も活性化につながると思います。他市ではホールで大型楽器が整っており演奏会時には有料で借用できたり、市が楽団を持ち楽器を購入し市の行事には絶対参加をしている団体もありますが、小金井市ならではの方法で良案が見出せないか検討して頂きたいです。</p> <p>現状、公立学校は校長、副校長、音楽科の先生が変わるとあらゆることが変わります。時にそういうことは大切なのですが、小金井市内で趣味として活動する上で音楽団体の存続の難しさをここ数年直面しております。</p> <p>小金井市内の音楽団体が条件付で、公平に不自由を感じるものが少なく練習や演奏会ができるようお願い致します。</p> <p>以上</p>	
42	<p>基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)</p>	<p>西岡市長が常日頃言及されている様に、小金井の最大の宝は豊かな自然とみどりです。その意味で第5次基本構想・前期基本計画(案)の中で、令和12年度に向けて「いかそうみどり」を小金井の一つの基本的な将来像として提案されていることを非常に嬉しく思います。</p> <p>(因みに、現在地球上の人類の生存にとって大きな脅威となっているコロナ禍は、環境破壊につながるこれ迄の人間行動が基因となっていることはご承知の通りです。)</p> <p>つきましては、一つの具体的重要案件の例示として、既に言及の小金井の宝を破壊することが明白で、且つ住民の圧倒的な反対意見のある2本の都市計画道路(3・4・11、3・4・1)の整備については、これを中止すべき旨、第5次基本構想等(案)の中で明確にすることを提案申し上げ</p>	<p>本計画案で掲げている「いかそうみどり」は、市内中学生が考えたものを長期計画審議会で議論し将来像(案)としました。市民意向調査やワークショップでも、みどりは市の魅力として多く挙げられ、市の魅力として重要なものと認識しています。</p> <p>基本構想・基本計画では、政策については取組方針、施策については方向性を示しているものであり、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		ます。何卒よろしく願いいたします。	
43	基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)	<p>市の掲げる「政策の取組方針」には賛成です。但し極めて重要なことは、人口減に伴う「都市間生き残り競争が熾烈化する中でそれを実現することです。</p> <p>「負け組」都市は、急激な荒廃に見舞れます。「勝ち組」となる唯一の条件は、他の都市を圧倒する「街の魅力」を築き上げ、積極的にPRし、多くの人に「住みたい街」と思ってもらうことです。</p> <p>では、財源等の制約の下で小金井市に何が出来るか。それは「恵まれた自然環境」という当市の持つ資源を徹底して守り、磨き、活用し、皆が認める当市の象徴とすることです。それしかありません。この自然環境に壊滅的影響を及ぼす道路新設などは論外です。構想に掲げる6つの政策は重要ですが、多くの都市も取り組んでおり、それだけでは他の都市を圧倒する魅力にはなりません。</p> <p>「豊かな自然」という当市の持つ財産価値を再認識し、それを最重要基盤に置いた街創りを進めることです。それ以外に当市の将来はありません。住んでみてはじめて当市の魅力に気付く人が多くいます。</p>	<p>御意見いただいたとおり、市民意向調査やワークショップでも、みどりは市の魅力として多く挙げられ、市の魅力として重要なものと認識しています。</p> <p>みどりを始めとする様々なまちの魅力をいかして、まちのイメージ・認知度の向上や、市民の愛着・誇りの醸成を行うシティプロモーションについては、施策28の中でも推進していくべきものと記載しています。</p>
44	基本構想 基本計画 (環境と都市基盤) その他	<p>小金井のまちづくりの重要施策として「気候危機」に対する緊急的とりくみを位置づけ、「脱炭素社会」への道筋を明示することを望みます。この原稿を書いているいまも、スーパー豪雨が九州をはじめ各地を襲い、山が崩れ、河が暴れ、家々が沈み、数多くの尊い命が失われていっています。50年に1度、100年に1度といわれる絶望的被害が毎年のように日本列島を襲っています。</p> <p>「気候変動」は、いまや「気候危機」と表現され、「非常</p>	<p>10年前と比し、環境分野だけでなく、様々な分野へ持続可能性の概念が拡がりを見せていることもあり、社会潮流については持続可能な社会の構築(P.12)の中に記載しています。また、政策の取組方針(P.18)においても、環境に優しい持続可能な循環型社会をつくる、という表現としています。環境問題を含めた、人が暮らす社会の持続可能性という記載をしていますので御理解ください。</p> <p>また、第4次の計画では重点政策・重点プロジェクトを</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>事態」いう認識が世界的なものとなっています。地球温暖化に対する取り組みは、待ったなしです。</p> <p>2016年11月 パリ協定、更に2018年10月 IPCC 特別報告書で、気温上昇を1.5℃未満に抑えるためには、2050年頃までに、CO2 排出量を実質ゼロにすることが必要となりました。これまで以上の削減目標がもとめられています。そして、その緊急性から2050年までにCO2 実質ゼロにするためには、2030年までのこの10年が決定的に重要であるとされています。EUも排出削減目標を1990年比で「40%削減」から「55%削減」への引き上げが検討しています。</p> <p>2019年12月 東京都は「ゼロエミッション東京戦略」を策定、「1.5℃を追求し、2050年までに、CO2 実質ゼロに貢献する、ゼロエミッション東京の実現を目指す。」としました。</p> <p>小金井市においても、西岡市長は2020年施政方針の「むすびに」において、「気候変動がもたらす影響は年々深刻さを増しており、本市においても将来を見据え、本気で取り組んでいかなければなりません。」と、小金井市における施策の重要性を強調し、本気での取組を表明しました。</p> <p>「第5次基本構想(案)」は、なぜか「第4次基本構想」と比べ、「地球温暖化一脱炭素社会」についての位置づけが低下しています。忘れられているのかとさえ思われます。</p> <p>「第4次」では、「社会潮流」の一つとして、「環境問題の深刻化」を明示し、「より快適で便利な生活を追求してきた一方、身近な自然が失われつつあり、森林の減少、大気汚染、温暖化への対策や生物多様性の確保などは、地球規</p>	<p>位置付けています。施策横断的な重点取組を設定し、重要度の濃淡をつけたことに意義はあった反面、施策や政策のつくりが複雑であったことを踏まえ、本計画案では「分かりやすさ」を策定の視点として重視しています。</p> <p>第4次の活動指標の達成度は、毎年度市が公表しているとともに、当然審議会においても第4次の振り返りをした上で、本計画案を作成しています。</p> <p>CO2排出量の増加については多々原因はあろうかと思いますが、東日本大震災以降、電力構成が変わり火力発電の割合が増えたことから、電力によるCO2排出量が増えていることが大きな原因となっています。また、市内で排出されるCO2は市民生活により排出される割合が大きいところから、第5次の基本計画では、「省エネルギーに取り組んでいる市民の割合」「公共施設の温室効果ガス総排出量」を指標として設定しています。</p> <p>気候変動に関しては、いただいた御意見の趣旨は重要なものと認識しておりますが、本計画案では「地球環境への負荷の軽減」という方向性を掲載し、その中で検討すべき取組の一つと考えますので、上記表記とさせていただきます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>模の問題となっています。地球環境を守り、次世代に引き継ぐために、産業構造の転換、廃棄物の発生抑制、再使用などを進めると同時に、みどりを守り育て、地域から地球温暖化対策を進め、環境にやさしい循環社会の構築に向けた取組を進めることが求められています。」</p> <p>更に、「重点政策」でも「生活環境においては、大量生産・大量消費・大量廃棄といった社会経済システムの下で進行した地球温暖化など、地球規模での環境問題が深刻化しています。このシステムを根本的に改め、身近な地域からの徹底したごみ減量化、再資源化が強く求められています。」とし、「環境保全」の項では、「地域から地球環境を保全する取組を進めるため、地球温暖化対策の計画的な推進やクリーンエネルギーの導入促進などにより、環境にやさしい仕組みづくりを進め、地球環境への負荷の軽減を図ります。」と繰り返し、述べられています。</p> <p>しかし、「第5次(案)」では、その重要性、緊急性が10年前より深刻化しているにも関わらず、「社会潮流」の項でも、骨格を示す「政策の取組方針」でも触れられていません。</p> <p>「第4次基本構想・後期基本計画」では、「重要プロジェクト」の「施策09 地球環境への負荷の軽減」で、「地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出量を削減するため、地球温暖化対策地域推進計画に基づき、ライフスタイルの転換について意識啓発を図るとともに、再生可能エネルギーの導入などを進めます。」とし、「活動指標」では、「市全域から排出される二酸化炭素量」を平成24年度の340ktから平成32年度には220ktま</p>	



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>で減らすとしています。</p> <p>「第4次」から10年、小金井市の「地球温暖化対策」は、残念ながら、十分な成果をあげていません。それどころか、CO2の排出量は、市全域からの排出量、公共施設からの排出量ともに、減少どころか、大幅に増大しているのです。再生可能エネルギーの導入についても、公共施設では遅々として進んでいません。</p> <p>「第5次(案)」では、「第4次」の活動指標の達成度についても明らかにされていません。</p> <p>なぜ、政策実現できなかつたのか？検証されなければなりません。</p> <p>そして、これから10年で、CO2削減のどのような政策によって、どれだけ野心的な削減目標を設定するのも求められています。</p> <p>「気候危機」という地球的課題は、「SDGs」の一項目でもあり、自治体のまちづくりにとっても重要なテーマとなっています。「SDGs」の目標年度は2030年です。</p> <p>「気候非常事態宣言」を発する自治体は、世界で1,000を超えています。日本でもその動きは広がっています。</p> <p>最近では、同じ多摩地域の多摩市が、2020年6月「気候非常事態宣言」を行ないました。その要旨は、以下の通りです。</p> <p>「世界では、気候変動は避けることのできない緊急事態であり、もはや「気候危機」であると言われています。多摩市と多摩市議会(全会一致)はこの気候危機を防ぐために、気候が危機的な状況にあることを全市民と共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組むことを目的として、多摩市気</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>候非常事態を宣言するものです。 1. 「気候危機」が迫っている事実を市民全員と共有し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。 2. 資源の有効活用を図り、使い捨てプラスチックの削減を推進します。 3. 生物多様性の大切さを共有し、その基盤となる水とみどりの保全を積極的に推進します。」</p> <p>小金井市としても、「第5次 基本構想」で「気候危非常事態宣言」を行う方向性を明らかにし、市民の中に「気候危機」という認識を共有し、地球温暖化対策を、全市をあげての取り組みにし、「脱炭素」のまちづくりのモデル都市へと進んでいくことがもともとめられていると思います。ぜひこの方向性を「第5次基本構想・前期基本計画」において、明示していただくことを求めます。</p>	
45	<p>基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)</p>	<p>① 「基本構想」の「6、政策の取組方針 環境と都市基盤」の第1項「豊かなみどりと水の保全と活用」の最後に以下を加筆。 “はけ”と野川周辺の貴重な自然環境、多様な生態系、景観を損なう懸念のある「都市計画道路」の見直しを求め、保全を進めます。</p> <p>② 「前期基本計画」の施策1に下記の一項を追加。 “はけ”と野川周辺の自然環境、生態系と景観を損なう2本の都市計画道路は、中止を含めた見直しが必要です。</p> <p>理由 2016年3月、東京都は、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」で、市内2路線（3・4・1号線、3・4・11号線外）が優先整備路線に決定しました。検討段階の2015年12月に行ったパブリックコメントで2</p>	<p>いただいた御意見のとおり、市にとって「みどり」や「水」は重要な魅力の一つです。市民の意見を聴くワークショップや、市民意向調査アンケートでも、多くの市民に、豊かな自然を魅力と感じると回答をいただいております、将来像などでも表現しています。</p> <p>都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、利便性と環境保全に関わりますので、熟慮が必要な問題と考えております。また、本計画は、政策については取組方針、施策については方向性を示しており、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>路線への市民の意見が2,111件、そのうち2,041件は「道路計画」の廃止や見直しを求めるものでした。</p> <p>市民は、決定後も、東京都に対し、この都市計画道路の問題点を、署名活動、「意見交換会」「市民説明会」などで指摘し、事業化中止を求めてきました。</p> <p>小金井市は、今年になって、2路線について無作為抽出で「市民アンケート」を行い、先日その集計結果が公表されました。</p> <p>“はげ”と野川周辺の自然環境、生態系と景観を損なうことへの危惧、懸念が極めて高いことが明らかになりました。2路線とも、「そう思う」ランキングで、14項目中トップ5までに、「自然」「景観」「多様な生態系」が損なわれるとする3項目がランクイン。「3・4・1号線」については、「そう思う」は、「知っていた」人では、これら3項目とも70%を超え、「3・4・11号線」についても60%を超えました。</p> <p>「市民アンケート」の結果からは、環境を壊してまで、都市計画道路はつくってほしくない、という民意が読み取れるものでした。</p> <p>小金井市議会も、東京都に対し「計画見直し」を求めるなど、意見書を現在まで何度となく採択しています。</p> <p>西岡市長は、2019年12月の市長選で「市民の望まない都市計画道路は作らせないと表明した現職の西岡市長が当選しました。そして市長は、「市民アンケート」の結果を受けて、東京都知事にあらためて、「3・4・11号線」につきましては、(中略)私、小金井市長が了解できない状況下で、事業化は進めないよう求めます。」「3・4・1号</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>線」につきましても、(中略)市長としましてもその見直しを求めます。」という内容の要望書は提出しました。</p> <p>いまや、計画されている都市計画道路2路線について、中止、見直しを求める声は、市民、市議会、市長と全市をあげてのものとなっています。</p> <p>都市計画道路の事業化期間はあと5年です。「前期基本計画」と重なります。「みどりと水に恵まれた豊かな自然」(第5次基本構想案)を大きな魅力とする小金井市にとって、2本の都市計画道路は、受け入れることができないものといえます。これからの小金井のまちづくりに多大な影響を及ぼす事業化を、小金井市は望まないことを「基本構想」「前期基本計画」において明確にさせていただきたいと思えます。それが、「これからも『私たち』は、豊かな自然を愛し、守り、いかしていきます」(第5次基本構想案)とする証となるからです。</p>	
46	<p>基本構想 基本計画 (福祉と健康) その他</p>	<p>コロナ時代に対応し、「地域福祉」の重要性、緊急性を明示することを望みます。</p> <p>「第5次基本構想」においては、「福祉と健康」の項に、「地域福祉」という言葉はありますが、コロナ危機の深刻化する前に、「案」が作成されたこともあるのでしょうか、「地域福祉の推進」「低所得者・生活困窮者等福祉の充実」についての重要性、緊急性についての認識が希薄であることが残念です。</p> <p>振り返って、「地域福祉」は、「第4次基本構想」では、「施策の大綱」の4本柱の一つとして「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」のトップにあげられていました。「第4次後期基本計画」でも、「誰もが安心して暮らせる</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、いただいた御意見を参考にしながら、長期計画審議会で改めて全体の見直しを検討してまいります。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>思いやりのあるまち」の項で（施策 48）「地域福祉の推進」（施策 49）「低所得者・生活困窮者等福祉の充実」で言及されています。</p> <p>新型コロナの感染拡大に伴う営業自粛、休業によって解雇、派遣切り、契約解消、内定取り消しなどで、多くの非正規労働者、派遣社員、アルバイト（学生も含め）の人たちが、困難な生活を余儀なくされています。小金井市でも家賃が払えなくなったことで、「住宅確保給付金」の申請者は、前年同期（3月～5月）比で2件から149件へと急増し、生活保護申請者も上昇しています。今回のコロナによる影響は、リーマンショック以上といわれ、この10年は、失業者、生活困難者の増大は、全世代に及び、より深刻なものとなることが予想されます。「地域福祉」は、「第5次」においては、「第4次」以上に、まちづくり、福祉施策での重要性は高まっていることは明らかです。更には、就労支援、市内自営業、事業所への支援も重要性が増しています。</p> <p>「第5次基本構想 前期基本計画」が、「案」の基本姿勢にある「みんなで幸せになるまちづくり」をめざすためには、「福祉を市政、まちづくりのど真ん中」といった積極的施策の充実を明記していただきたいと思います。</p> <p>●コロナショックは、「地域福祉」の重要性だけでなく、市政運営、まちづくり全体に大きな変化をもたらします。今回の「意見募集」にあたって、「昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市にかかわる全ての人の暮らし方、働き方などの環境が大きく変わることも想定されます。長期スパンを見据え、「新しい日常」を意識した記</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>載についても、合わせてご意見を頂ければと思います。」とされています。その通りだと思います。市民からの「意見募集」を受けて、コロナショック下でのまちづくり、市政運営の新たな方向、課題について、審議会において、時間をかけてじっくりと議論し、「第5次案」をあらためて提案いただくことも躊躇せずに行っていただきたいと思います。</p>	
47	基本構想 基本計画	<p>審議会のみなさまの小金井市の将来に向けての議論と「案」を取りまとめいただいたことに感謝いたします。</p> <p>「案」を何度も読み返させていただきました。また、「第4次」とも比較しました。更には、他の自治体の「長期計画」も参考にしてみました。</p> <p>いろいろ問題点があることを感じましたが、ここでは、最も基本的な問題点を指摘させていただきます。</p> <p>「第5次基本構想・前期基本計画」において、「4つの柱」としている重要分野について、総括的評価、到達点を明らかにし、すべての施策項目について、「指標」の項目を再考し、行政としての数値目標を明示することを望みます。小金井市の「第5次案」は、「第4次基本構想」「第4次後期基本計画」において掲げた政策の達成度について、評価が明らかにされていないことに強い疑問を持ちました。</p> <p>「第4次」では、「施策の大綱」4つの柱のそれぞれにあった「現況と課題の概要」が、「第5次案」にはありません。また、「基本計画」でも本来であれば、「第4次後期」の評価、課題を明らかにし、「第5次」の計画を示すことが、重要なことだと思いますが、そうはなっていません。「第5次案」では、「PDCA サイクル」の強化</p>	<p>市民意向調査の結果を見ても計画の認知度が低く、計画はまず読んでもらうことが大切だと考えます。そのため、要素を詰め込めればよいものではないと考えており、本計画案では「分かりやすさ」を策定の視点として重視しています。第4次では、重点政策ごとの現況と課題があり、施策の大綱それぞれに現況と課題があり、各施策分野でも現況と課題がありました。それぞれを詳細に説明する意味では非常に良い表現である一方、似たような内容について重複して記載しており、複雑な作りとなっています。また、「分かりやすさ」「読みやすさ」の観点として、計画の量的な削減は重要です。詳細な記載で分厚い計画になるよりも、端的に記載することの読みやすさを重視しており、現状と課題については、基本計画の施策ごとに記載しています。</p> <p>また、第4次の計画の評価は毎年市で行う施策マネジメントでPDCAを回しています。それを評価・課題抽出し、振り返りを審議会で行い、検討した上で、新たに本計画案を作成しており、PDCAに基づくものです。</p> <p>一方で、新たな計画の中での最も伝えたい主題は「これから」の取組です。記載の仕方として、「分かりやすさ」</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>を掲げていますが、残念ながら、「第5次案」は、「PDCA」の基づくものになっていません。</p> <p>「第5次案」の「第4次基本構想・基本計画の振り返り」の指標として、「市民意向調査の結果」だけをあげています。市民が感じる「住みやすさ」「定住志向」の意向を指標とすることは、大切な視点だと思いますが、その前提として、基本的政策分野の到達点を示す客観的指標があつて初めて意味を持つのではないのでしょうか。</p> <p>「計画分野ごとの取組状況」では、「4つの柱」を振り返っていますが、4本とも、最後は「進めてきました」「進めてきました」「進めてきました」「進めてきました」と結ばれています。誰も、「進めてこなかった」とは思っていない。問題は、「進めてきた」けれど、どこまで目標を実現したのか、成果と積み残した課題など到達点を明らかにし、状況に変化を加味し、次の課題と施策の進化へとつなげ、新たな、第5次の目標を示すことができていないことです。「PDCA」サイクルはどこに行ってしまったのでしょうか。</p> <p>「第4次後期基本計画」では、第1部として「後期基本計画の策定にあたって」があり、そこでは「市の現状（主要な特徴と課題）」「第5章前期基本計画の総括」では、「施策の大綱と取組状況」さらには「成果・活動指標の達成状況」では100を超える施策の達成状況を明示し、第4次前期の到達点、総括、評価を行っています。</p> <p>「第5次前期基本計画」では、このような「策定にあたって」がなく、基本計画本体のみとしていることによって、市民として、現状と課題について共有することを困難にし</p>	<p>を意識して、重複を避け、分量も考えた上で本計画案を作成していますので御理解いただきたいと思います。</p> <p>指標についての考えをお示しします。本計画案は、個別の行政計画との関係性の整理を策定の視点の一つとして掲げて策定しています。個別計画と本計画案で同じ指標を二重管理する行政コストのロスを防ぐためです。そのため、基本的な考えとして、個々の取組の結果（アウトプット）による成果（アウトカム）は、個別計画や事業で管理し、それらの各所管の取組により達成するもう1段上の成果（最終アウトカム）を、本計画案の指標としています。本計画案における最上位の目的は「市民のしあわせの増進」です。例示いただいた「待機児童の解消」は「のびゆくこどもプラン」の指標となり、その結果として、「子育て家庭への支援が充実している」と思う市民の割合＝その分野で「しあわせ」だと思ふ市民の割合を増やすことを、本計画案の指標としていますので、御理解ください。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>ていると思います。</p> <p>「第5次前期基本計画」で、奇妙な感じがするのが、「第4次」と違い、「指標」の項目の多くが、市民のアンケートの結果をあげていることです。市民の満足度は、市民意向調査、その他のアンケートで評価されることはわかります。しかし、それはそれ自体の報告と分析が行われます。長期計画で必要なのは、例えば、子育て家庭の支援であれば、「待機児童の解消」に向けての5年間の数値目標を明示することではないでしょうか。これまでの長期計画、「第4次後期基本計画」では、待機児童ゼロを数値目標に掲げています。重要施策の項目については、数値目標を設定は、長期計画としては必須です。数値目標を設定しないと、計画終了後、到達点の評価ができません。行政としての数値目標を掲げると、実現しなかったときの責任回避したいからのように思われてしまいます。「第5次案」は、ここでも「PDCA」サイクルから逸脱しています。</p>	
48	基本構想 基本計画	<p>長期の基本構想であるにも関わらず、30年後、50年後を見据えた将来的なビジョンや、将来の人口減少に備えた、単なる利便性や不動産価格だけで判断されない「選ばれる街」になるための小金井モデル、小金井独自の個性というものが、まったく見えませんでした。</p> <p>各個別の問題についても、本質的な原因の追究もなく、対症療法のように「このようにしていきます」と、抽象的な文言が並ぶだけで、具体的な手段が見えませんでした。</p> <p>つきましては、この基本構想をこのまま容認することは出来ません。</p>	<p>本計画は、計画期間を令和3年度から令和12年度までの10年間とし、市民のしあわせの増進を図ることを目的として、今後10年にわたる将来像実現のため、まちづくりの基本姿勢を踏まえた政策の取組方針を示すものです。</p> <p>また、市の将来像として、「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」を掲げていますが、この将来像は市内の中学生に原案を考えていただいた後、市役所若手職員の議論を経て、審議会で取りまとめたものです。</p> <p>小金井独自の個性が見えないということですが、私たち</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>私は、今の日本が抱えるさまざまな社会問題の多くは、根源的な問題として国民（市民）に、「自分も社会を構成する一人」「ひとりひとりの行動や考えが社会を構成している、市民社会意識」の欠如にあると考えます。</p> <p>例えば環境問題や、選挙の投票率など、「自分ひとりが頑張ったところで何も変わらない」と考えるか、</p> <p>「ほんの少しの力でも、やらないよりはずっといい」と考えるか、その分かれ目が、市民意識の有無にあるからです。</p> <p>また、日本人はいまだに封建意識を引きずって、行政に対応を求めるにも「お上に陳情する」といった、上下関係的な感覚が抜けていません。</p> <p>市民が行政側と、もっと対等に気軽に意見を出し、パブリックコメントか投書かなどの形式に関係なく、または、小論文を書いて〇〇委員に応募せずとも、「意見すれば当然検討される」または「どうか市民の知恵を下さい、という姿勢で行政側が求めにいく」という関係を作ることこそが、市民の社会意識を高め、自然体の「市民協働」の姿を作ると思います。</p> <p>市民意識の指標として、例えば投票率が他市より高まれば、選挙番組でマスコミから「小金井市は独特な取り組みをしている」と取り上げられるかもしれません。「小金井モデル」として他市からも見習われる存在となれば、小金井市の街の価値を上げます。</p> <p>また、現在建設計画中の新市庁舎や、武蔵小金井北口再開発は、一度建設したら、今後数十年先までの街の価値を作っていくこととなります。</p>	<p>は 16 頁に記載のとおり本市の強みを意識した将来像を掲げ、その将来像に向けたまちづくりに取り組むに当たっての基本姿勢を 17 頁に示し、将来像の実現に向けて取り組む政策を 6 つに整理した上で、18 頁～23 頁に取組方針を示しています。</p> <p>また、様々ないただいた個別に検討を要する事業に係る御意見については本計画案に記載しておりませんが、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>それならば、小金井のシンボリックな存在として、小金井の将来ビジョンと同列に検討すべきです。</p> <p>現状、小金井市の個性は「豊かな自然を愛し、守り、いかして」いく気持ちが強いことだと思いますが、「自然を愛するはずの小金井市民は、野川さえ守られれば、地球環境はどうでもいいのですか？」</p> <p>小金井市の二酸化炭素削減目標の達成率は、26市の中でも下位ですが、これで「自然を愛する」といって、説得力があるでしょうか？国連の気候変動パネルでは、10年後の2030年までに二酸化炭素排出量を約半分に、30年後までには実質ゼロにしないと人類滅亡の危機だと警告しています。</p> <p>ついでに、新市庁舎も、30年以上利用するつもりでいるなら、建設する今からカーボンニュートラルでいいと思います。実際に、都内では世田谷区でも、本庁舎は再生可能エネルギー100%を実現していますし、現実的に検討すべきテーマです。</p> <p>また、ヒートアイランド対策や、世界的な食糧危機と日本の食料自給率問題対策も兼ねて、新市庁舎の屋上に、市民農園を設営することを提案します。</p> <p>気候変動で、日本の農家も「従来の農法が通じない」と言っている現在、都市部にも食料供給源を増やすことは、本来は国策でもおかしくない急務です。公的機関の新市庁舎が率先すれば、市民意識を向上させるに当たって、大きな意義があると思います。</p> <p>また、屋上緑化を兼ねた市民農園を格安で貸すかわりに、余剰生産物を、困窮家庭や子ども食堂に回すシステムを作</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>り、市民コミュニティだけでなく、貧困対策にも役立てたいです。</p> <p>受け取る側が、提供者に一言メッセージを残すなどの工夫で、生産側は「好きなことをやったら、誰かの役に立った」、受け取る側も、行政からではなく「社会の中で助けられた」という、社会との繋がりを感じられると思います。</p> <p>市民農園の管理は、援農ボランティアを活用すれば、援農ボランティアの方々にも、農家さんのお手伝いをするだけでなく、知識や経験を主体的に還元できる場所になると思います。</p> <p>そして、新市庁舎に、誰でも利用できる、「未来食堂（通常の食事は購入するが、店の手伝いをすることで食事チケットが受け取れるため、金銭的に苦しい人でも食事ができる）」のようなシステムのカフェも欲しいです。</p> <p>その食堂に屋上菜園の一角を利用してもらい、採りたて野菜を提供します。菜園の手伝いをするだけでも食事チケットを受け取れるシステムにすれば、小学生や男性なども参加しやすくなります。</p> <p>そして、幅広い参加者に「社会の中で助け合いながら生活している」という自覚を育てられると思います。</p> <p>市庁舎の周囲には果樹を植えて、果物の収穫イベントや市民に配布するイベントなども企画できれば、「自然を楽しむ小金井」にもなるし、市民が気軽に楽しく立ち寄る場所にできます。</p> <p>こうして、新市庁舎という市のシンボリックな存在が、地球を愛し、世界平和を願い（食料危機）、自然を愛し、市民コミュニティや弱者救済を大切にする全ての意識を体</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>現すれば、利用する市民たちも「わたしたちの市は、こういう意識を持った街なんだ」という自覚を持つことになります。</p> <p>市役所が、書類の申請に行く無機質な場所ではなく、誰でも遊びに行きたくなるコミュニティの場になることで、市民にとっても市政に親近感がわき、「ちょっと意見してみようかな」と、気軽に物を言えるようになります。こうした成功体験を積むことで、「わたしたちが作る、わたしの街」という市民としての当事者意識や、「まちを愛する気持ち」を育てていく場にもなると思います。</p> <p>また、特徴的な新市庁舎が建設されるとなれば、マスコミにも取り上げられ、「個性的な街、小金井市」と認知されるかもしれません。</p> <p>楽しく過ごしながら、政治参加しやすい空気に触れていけば、市民の社会意識も向上し、投票率の上昇も期待できますし、投票率という分かりやすい指標が上がれば「独特な取り組みをしている、小金井モデル」として、マスコミや周辺の街からも注目されやすく、小金井にブランド的な価値がつきます。</p> <p>市民意識が上がれば、保育園の騒音問題や、野川へのゴミのポイ捨て問題、ゴミの削減問題、孤育て問題など、様々な問題に対し、マナーの向上や人々に対する寛容性などの波及効果が期待できます。</p> <p>首都直下型地震などの自然災害があっても、市民が自然と助け合える精神的な基盤にもなります。</p> <p>市役所が積極的に自然を愛する存在になることで、市民にも、豊かな自然を愛し、守る気持ちが、一層高まると思い</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>ます。</p> <p>小金井市が排出する二酸化炭素の大部分が一般家庭からというなら、従来より積極的に市民を喚起しなければなりません。単に補助金を設定するだけでは、意識は向上しません。</p> <p>以上、小金井市基本構想が取り上げる個々の問題について、横断的に解決していき、将来的には「選ばれる街」となる、具体的な手段の一つとして提案します。</p> <p>学校教育について、「主体的に学び、考え、行動する力の育成」とありますが、「自分の頭で考える力を育てる」とことと、「その判断基準に、社会の構成員としての自覚が自然に入ること」を、両輪にしなければならないと思います。この自覚は、やはり社会を作る成功体験が育てていくと思います。</p> <p>例えば、子供たちに、保護者を巻き込んで、真剣に市政への要望を考えさせ、子供たち同士でも話し合わせる。そして、その要望を市議会で市議が真剣に議論し、自分たちの要望を討議している議会を子供たちに傍聴させれば、「自分の意見が、市政を動かすかもしれない！」という気持ちを呼びます。</p> <p>善悪を道徳の教科書で判断させるのではなく、「市民社会を構成する一部分」としての判断基準を持つことで、政権の思惑に左右されない価値観を形成できると思います。</p> <p>市民への啓蒙について、以前、市が発行している「かたらい」という男女共同参画の広報誌で市民編集委員をやりましたが、様々なインタビュー先で、ほとんど毎回言われたのは、「男女共同参画を独立したテーマとして扱うのは前</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>時代的だ。大きな社会の枠組みが抱える矛盾の一つとして提起する方が現代的だ」という指摘です。</p> <p>私もこれに、完全に同意します。</p> <p>限りある市の財源なのですから、例えばSDGsのような、男女共同参画問題も含まれる（5. ジェンダー平等を実現しよう）、もっと大枠のテーマを広報誌のテーマにすることを提案します。</p> <p>最後に、私は一介の、小金井の片隅に生息する普通の主婦ですが、こうした一見つまらない存在のような人間の意見を取り入れることによって、「小金井市って、普通の主婦の提案でも実現するような街なんだって!」という実績になり、市民に自信と希望を与えられると思います。</p>	
49	基本構想 基本計画	<p><b>【全体】</b></p> <p>策定のタイミングがコロナ禍に入る間際だったこともあり、あらためて全体を見ますとこの視点が抜け落ちていると言わざるを得ません。</p> <p>ほぼすべての施策項目にこの視点を追加した見直しの必要を感じます。</p> <p>他の計画との整合性もあると思いますが、若干長期計画の策定を延長し、追加すべき項目について検討しなおしてはいかがでしょうか。</p> <p>まちひとしごと創生総合戦略と同様に、たとえば6ヶ月程度、第4次基本構想と後期基本計画を若干延長し、その分第5次基本構想を短くすれば良いと思います。</p> <p>基本構想、基本計画ともにSociety5.0についていくつか記述がありますが、内容についての解説がないためわかりづらく、なにを目指しているのかこれを知らない方が見る</p>	<p>本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、御意見を参考にしながら、審議会で改めて全体の見直しを検討してまいります。各分野の記述については、御意見の趣旨と同様に、これからの新しい生活様式に沿う内容になるよう、見直しが必要であると認識しております。感染症の拡大を防止しつつ、私たちが目指す小金井市の将来像の実現に向けた計画になるよう、検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>Society5.0については、巻末の用語の説明で簡単に解説させていただいているところです。分かりづらい新しい用語などは、簡単な表現に変えることや用語の説明を入れることを検討し、全体的に分かりやすい計画になるよう議論を重ねてきましたが、全体の見直しを検討する際に、いただいた御意見を参考とさせていただきたいと思っております。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>と意味がわかりません。どこかに内閣府の発信している下記のような「Society 5.0 で実現する社会」についての概要を入れてはいかがでしょうか。</p> <p>■基本構想 将来像や政策の取り組み方針に感染症の蔓延に対する対策を含めた記述を入れるほうが良いと思います。</p> <p>■基本計画 コロナ禍の影響もふまえて下記について追加の記述をご検討ください。</p> <p>P56 子どもと教育 ・登校が不可能となるような環境になった際のため、家庭でも学習出来るインフラ整備の充実について ・感染症予防のための学校設備の充実について</p> <p>P65 文化と生涯学習 感染症の蔓延にともない市民交流センターやスポーツ施設などの公共施設を安全に運営するためのガイドライン、また経営的な支援なども含めた方策など</p> <p>P78 高齢者の生きがいの充実 コロナ禍の影響により高齢者への情報伝達、コミュニケーション手段が不足し</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>がちな期間がありました。 IT 機器が苦手な高齢者でもインターネットを通じて情報を得られるような支援なども必要かと思います。</p> <p>P85 施策 26 健康の維持・増進 感染症の検査体制の充実、現状と課題、それに対応する施策の方向性への項目追加</p> <p>P86 行政運営 コロナ禍の影響で市民参加にも大きな影響が出ています。こういった状況にも対応出来るような WEB 会議システムの構築など、行政のインフラ整備が必要だ と思います。</p> <p>P88 現状での SNS 発信をさらに充実させる必要を感じます。Facebook アカウントでの発信を目指していただきたいです。</p>	
50	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>関連する項目 各論 施策 2 循環型社会の形成 現状と課題 ○家庭から排出されるごみの減量及び資源化に向けて、発生抑制を最優先とした 3 R の推進に取り組んでいます。 ●私たちが協力・連携して、ごみの減量及び資源化の推進</p>	<p>日頃から生ごみの減量及び資源化に取り組んでいただき、ありがとうございます。私たちが一体となり、家庭から排出されるごみの減量・資源化に向けて 3 R を推進していくことが重要であることは、審議会でも認識しているところです。具体的な取組における課題については、個別計画等の中で整理していく必要があると考えますが、本計画案にもありますように、循環型都市「ごみゼロタウン小金</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>が必要です</p> <p>土曜生ごみリサイクルについての提案  <b>【現状と問題点】</b>            施策2に現状と課題で、ごみ減量の必要が述べられています。又ごみ減量は市と市民の共同作業が不可欠の事業であるのは当然です。</p> <p>ところが現状では燃やすごみは、減るところか増加している傾向にあります。            年1%のごみ減量を小金井市は約束していますが、これは燃やすごみでみると約 120 トン/年もの減量に相当しています。</p> <p>以上のことから、燃やすごみ減量は市の事業として具体的な施策を立ち上げて進めなければならないことは明瞭です。言葉だけで謳いあげればいいというものではありません</p> <p>具体的な市の施策として夏休み生ごみリサイクルが挙げられます。市の責任のもと市事業として認め、市民が協働してその実施に参加するという形で行われています。            これは市と市民が協同で行っている燃やすごみ減量の数少ない事業の典型的な物の一つになっています。</p> <p>このような状況のなかで夏休みだけでなく、学校給食が休みになっている土曜日まで拡張しようということで、市民</p>	<p>井」を目指して私たちにできることを考え、取り組んでいくことが大切だと認識しております。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>が率先して土曜生ごみリサイクルを立ち上げました。このためボランティアの方々には、夏休み生ごみリサイクルと土曜生ごみリサイクルが切れ目なく区別なく行われていると認識しています。</p> <p>ところが全く同じ条件の事業である土曜生ごみのについては正式な市の事業として市は認めていません</p> <p>今日では夏休み、土曜生ごみの事業合わせて年間約 15 トン余りの燃やすごみ減量に貢献しています。年間数値目標 1%のごみ減量は約 120 トン／年に相当していますが、その約 8分の1 を担っている勘定に 9 なり、貢献度の大きいボランティア事業にまでなっています。</p> <p>なんと土曜生ごみの方は 14 トン弱の大半の減量を担うまで発展しています。</p> <p>夏休み生ごみは土曜生ごみの約 1/10 にしか過ぎません。</p> <p>あくまでもごみ減量は市のやるべき事業であり、協働しているボランティアの目から見ると、土曜生ごみが果たしている現実を無視しているとしか思えません。</p> <p>この事実から分かるように、土曜生ごみのボランティアグループは趣味や単なる思い付きや思い込みによる活動とは全く違っています。市が当然進めるべき燃やすごみ減量事業の一旦を確実に担っていると考えて活動しています。</p> <p>例を挙げると、前原小では一日で 20 人から 30 人の近隣</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>の住民の方々が合わせて約 30 kgの生ごみを持ち込んでいて、土曜生ごみのボランティア活動はすでに地域に深く定着しています。</p> <p>先般この土曜生ごみ活動は市から表彰を受けました。市は大いにこの事業を支援してゆくとボランティアグループは理解しています</p> <p>又このボランティア活動は他市からのごみ受け入れで被害を被っている日野市の住民の方々に燃やす減量を以って応えていると認識している。</p> <p>夏休み生ごみリサイクルを市の事業としている市が、土曜生ごみリサイクルを事業として取り上げられないで制約、課題があるとはとても思えません。</p> <p><b>【ボランティア活動をするにあたって】</b></p> <p>ボランティアの方々は、マスクをつけて、ソーシャルディスタンスをとるのがせいぜいです。子供たちの学校給食と共用している乾燥機など、消毒するという事までボランティアグループには気が回っていません。もし人身事故、災害、新型コロナなどの問題が起こった時、市は全く責任をとらず、ボランティアグループに責任を押し付けるのは全く無謀な話だと思います。コロナを含めた災害が起こった時、市はボランティア、市民の為に最善を尽くす体制をとれるようにする必要があると考えます</p> <p>新型コロナや災害ような問題の時、市はきちんとした危機管理対策を用意しているはずで。市はボランティアにこ</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>のような大変な問題を押し付けるのではなく、ちゃんと責任をもって対処すべきです。その時にはボランティアグループと十分な話し合いを行いながら進めるべきことは言うまでもありません。</p> <p><b>【提案する施策】</b> 市と市民の協同作業になっている土曜生ごみを夏休み生ごみと同様に市の事業として取り上げ必要な支援をして、燃やすごみ減量のための事業の施策とする。</p>	
51	基本計画 (環境と都市基盤) その他	<p>35頁 みどりと水と環境度の目標値が記されているが、第4次では、緑地の面積の目標値として、現状対比で「維持」とされ、現状を下回らないことが目標とされた。今回は抽象的な「満足度」とされたが、これでは、行政の目標ではなくなってしまう。「緑地面積：に戻すべき。</p> <p>44頁 都市計画道路について、「事業中の線路については整備を進めています」とある一方、「継続した整備が必要です」と、書かれているが、自然環境を壊す道路計画が進められようとしており、住民合意のない計画も問題となっている。「都市計画道路については、貴重な自然の保全、住民との合意を得てするめることが大事です」との記載を加えることを求めます。</p> <p>メールで受付を認めていないようですが、その理由は、何なののでしょうか？</p>	<p>指標の基本的な考えとして、個々の取組による結果や成果は個別計画や事業で管理し、それらの各所管の取組により達成するもう1段上の成果を、基本計画の指標としています。そこで、本計画の目的は「市民のしあわせの増進」であるため、「緑地面積」といった具体的な成果を積み重ねた結果として市民の満足度が上がる＝「しあわせ」だと思ふ市民の割合を増やすことを指標としました。</p> <p>都市計画道路については、自然環境の保全が視点として大切なことと認識していますが、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであると考えており、45頁の施策の方向性④に記載しております。住民との合意は具体的な事業の進め方であるため、本計画案の中では記載しておりません。</p> <p>なお、今回の御意見の受付はメールでも行っており、市ホームページや市報等でもその旨掲載しておりました。</p>
52	基本構想 基本計画	<p>・コロナ感染拡大しています。5年間の前期基本計画に、この重大な感染症対策にふれないのは、不十分です。高齢</p>	<p>本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、皆様の御意見も</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
	(全般) (文化と生涯学習)	<p>者にとっては生死にかかわることであり、国や都で上から目線でスピード感のない当はずれな愚策を打ち出しても、市民としては、安心できるものではありません。</p> <p>・ほぼほぼ固った(案)ですが、緊急政策 →P30 の施策体系 の7として扱うか、5の →P84 の 福祉と健康の政策の施策に含めるか、どちらでもいいので、是非「コヴィット 19 感染対策」の新たな取り組み…を入れてください。</p> <p>・この間、議員も加わった「コロナ対策会議(正式名称は?)」が開催されているとも聞き及んでいます。医師会との連携も十分に計った上で、公衆衛生、感染症対策を明確に打ち出してください。</p> <p>・P71②男女共同参画の推進するための… (仮) 男女平等推進センターの創設に取り組みます。 ※案文では「…センターの整備について検討していきます」になっていますが、これでは、いつになっても、活動拠点として公的な施設が使われるようにならないでしょう。ここは、はっきりと、創設に取り組みます。と明言してください。女性にとっても困難な時代です。「小金井に男女平等推進センターができるんだ!!」ということ事体が、なによりの啓発になります。</p>	<p>参考にしながら、審議会で改めて全体的見直しを検討してまいります。</p> <p>また、男女平等推進センター創設についての御意見ですが、本市の公共施設については、老朽化や将来の人口減少社会を見据え、長期的な視点に立った公共施設の更新、統廃合、長寿命化を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化しながら、これからの公共施設の在り方をマネジメントの視点をもって検討して全体最適を図ることが肝要と考えております。</p> <p>公共施設マネジメントについては、施策 29 計画的な行財政運営(P.91)にも位置付けられているところですが、今後の個々の施設に関しては、個別の検討を要することから、本計画案に記載しておりません。</p>
53	基本計画 (文化と生涯学習)	<p>P70、71 人権・平和・男女共同参画の尊重 第5次男女共同参画行動計画で基本理念となっている「ワーク・ライフ・バランス」の文言が全く無いのはおかしい。 P71②男女共同参画の推進の2行目「理解推進」の後に「ワーク・ライフ・バランスの推進」を入れる。 指票でも「男女共同参画行動計画の達成率」とひとくくり</p>	<p>御意見いただいた「ワーク・ライフ・バランス」の観点は、男女共同参画の推進にとって重要な観点であると捉えています。</p> <p>一方、本計画案では「分かりやすさ」「読みやすさ」を策定の視点として重視しており、施策については方向性の記載に留めています。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>にまとめるのではなく、「ワーク・ライフ・バランス」の実現した社会の達成率」と「男女共同参画事業」の達成率と分けた方がいいのでは。</p> <p>(メールで送ろうとしましたが、うまく送信できなかったので汚い字ですみません。)</p>	<p>男女共同参画の推進に重要な観点については、現在策定中である個別計画の中で検討し、本計画案では、ふかんした形で指標を定めることとしています。</p>
54	<p>基本計画 (環境と都市基盤) (地域と経済)</p>	<p>施策6 都市インフラ…； PP44-47</p> <p>ある道路全体の拡幅は、住民合意に時間を要するのみならず費用も多額で実現性が乏しいです。一方、道路の一部区間(所々の虫食い状態で良い)を拡幅出来るだけで、歩行者の退避やゆずり合いで車の交換が容易になる上に、何よりも安くて効果が大きく、実現性も高いです。道路沿いで時々、所々に出る売地を市で購入するのが良い思います。積極的取り組みはなく、「小金方式」が出来ます。</p> <p>施策8. 防災態勢… PP48-49</p> <p>(1) 小金井の災害は主として火災です。消防活動の整備に当って狭くて曲った道路に適応出来る様に小型(軽)消防車を備えて欲しいです。現在の装備基準は狭い曲った道路に適合していないと考えています。</p> <p>(2) 地震など広域防災を行政区画(小金井市のみ)で考えるのではなく、隣接市との協働が大切ではないですか? 都は現地を見ずに机上の話だけです。隣接市と一緒に何が出来るか是非有効な手段を検討して下さい。地◆学の事は都は分かりません。</p>	<p>市道については、幅員4m未満の狭あいな道路は、安全性の観点からも幅員の確保が必要であり、沿道の建替え等により拡幅を進めています。</p> <p>防災について、車両が入れない場所などでは可搬式のポンプを装備品として消防団に配備しているとのこと。また、他自治体などとの連携協力体制の強化については、49頁の施策の方向性③にあるとおりです。</p> <p>いずれにしても、個別事業の中で具体的な検討を要するものですので、本計画案に記載いたしません。今後事業を進める上で参考としていくべきものとして市に伝えさせていただきます。</p>
55	<p>基本構想 基本計画 (全般)</p>	<p>① 6ページ 「きずなを結ぶ」</p> <p>「きずな」ということばには、もともと「人と人との結びつき」という意味があり違和感があります。</p>	<p>①御意見の箇所は、10年前に策定された第4次基本構想の将来像となります。</p> <p>②行政の運営を経営と捉え成果に重点を置いた行政活動</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>② 6ページ 使用単語の訂正 文中に「行政経営資源」とありますが、「経営」は収益の最大化をその目的とし、行政の場合は、組織の効率化を意味する「運営」が適切と思われる。</p> <p>③ 6ページ後段の「選ばれるまちを目指す戦略を明確にする必要があります」とありますが、掲げられた政策及び施策は非常に網羅的でメリハリが感じられません。また今後一層進展する少子化・高齢化、災害列島とも言える日本で激甚災害が多発している状況で、災害に強いまち造りをどうするのか行政の決意・意思が感じられません。更に『みどり』が当市のスローガン・キャッチコピーの中心の置かれ、また近隣市と差別化する主なファクターとして位置づけられていますが、義務的費用の増加等で予算の硬直化が進んでいる中で、関連する予算・基金が削減され、自ずと適切に維持管理されていない『みどり』が増加し、引いては景観を損ない、使用されない公園が増加する等『みどり』ということばがイメージと実態と乖離・遊離・一人歩きしつつあるのではと思われます。</p> <p>④ 10ページ「計画の推進」 文中にある「行政経営」は上記②に同じで「行政運営」が適切と思われる。</p> <p>⑤ 13ページ「小金井市の現状」についての文中で「転入維持と転出抑制が課題です」とありますが、表現として</p>	<p>を行う「行政経営」という概念がございます。なお、政策の「行政運営」については、経営という視点だけに偏っていない内容であるため行政運営としています。</p> <p>③市の総合計画ですので、市の施策を網羅的に記載する必要があると考えます。本計画案の目的は、市民のしあわせの増進であり、市民に「選ばれる」ため、住みやすいと思う人、住み続けたいと思う人を、28頁のとおり基本計画全体の目標と掲げ、各施策分野における市民満足度の向上をはかるつくりとしています。また、本計画案全体として、個別計画との関係性の整理を意識し、個別計画では詳細事業を記載し、その方向性などを示すものと整理していますので、網羅的な表現となっています。また、防災について、6頁は策定意義を明確にしたものであり、具体的な表記は基本計画等に記載しています。「みどり」についての御意見は課題として想定されると思いますので、市に伝えさせていただきます。</p> <p>④第4次の取組状況を示した箇所であり、第4次の計画の文言としています。</p> <p>⑤20代、30代後半は転入超過があるため、維持という表現としています。またこの取組は88頁の施策28や、94頁のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中で明示しています。</p> <p>⑥御意見の直接的な原因については不明ですが、定住につながる施策が必要と考えます。</p> <p>⑦多摩地域は似た特徴の自治体が多いですが、本市の財政状況を分かりやすく簡単に説明している内容と考えます。表現については、記載することで冗長となることを避けて</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>は寧ろ「転入促進…」ではないでしょうか。ただし、この課題(転入促進・転出抑制)への取り組みとして、後段の政策・施策で明示されている必要があります。</p> <p>⑥ 13ページ下段の棒グラフで「30歳～34歳」の年代が転出超になっていますが、この年代は子育て世代の最中で小金井市民層の中心的存在である為、転出超になっている理由・原因について説明がなされているのでしょうか。他の年代で僅かですが、55歳～59歳、60歳～64歳も転出超になっています。</p> <p>⑦ 14ページ「財政」の文中に「本市は交通のアクセスの良さ……暮らしやすい環境を強みとしてきたこともあり」と「歳入構造の約半分を市税収入が占めています」と繋がっていますが、近隣の市と比較して特筆しておかしく無い内容・状況でしょうか。若しこの記述を残すのであれば「市民税、固定資産税等の市税収入」の表現の方が分かりやすいと思います。</p> <p>⑧ 14ページ「……依然として厳しい財政状況にあり、持続可能な財政基盤の構築が課題です」とありますが、この課題をカバーする政策・施策が判然としません。29ページの「個別の行政計画」の中に「行財政改革プラン」の項目ありますが、この点についても、行政の決意・意思が感じ難い内容になっています。30ページの施策の概要では「6 行政運営」、「施策29 計画的な行財政運営」、91ページの「持続可能な財政運</p>	<p>います。</p> <p>⑧該当する政策・施策は、御意見のとおりです。具体的な内容は、行財政改革プランの中で決めていくもので、本計画案には記載しておりません。</p> <p>⑨小金井市の市域として武蔵小金井駅がほぼ中心にあるが故の表記であり、御意見のような意図はありません。なお、「*」の御意見については市に伝えさせていただきます。</p> <p>⑩特定の場所を想定したものではなく、市民生活の中で拠点となる場所、例えば商店街なども含め、地域の中心拠点を利便性高く整備していくことが課題という表記です。利便性も商業に特化したもの、暮らしに特化したものなど様々あると思いますので、原案のままとさせていただきたいと思います。</p> <p>⑪審議会としては原案の表現で足りると考えています。</p> <p>⑫将来像は10年間かけて目指していくもので、高い目標を示すべきと考えます。まちづくりの基本姿勢は、こういったことを意識しながら取り組む姿勢を示したもので、意識付けをするものです。</p> <p>⑬本市の魅力である「みどり」は、都市と調和したみどりであると考えています。市でも34ページの施策1にあるとおり、みどりの量は維持しつつも管理の行き届いたみどりの保全へとシフトチェンジしており、公園も公園評価に基づいた選択と集中にとりかかるところと聞いています。詳細は個別の取組の中で記載していくことと考えます。</p> <p>⑭市内には湧水もありますが、ここでいう水は水源たる湧水だけでなく、地下水も含むため水と表現しています。</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>営の実現」に続きますが、歳入に見合った歳出構造の確立、選択と集中、優先順位の明確化、民間活力の積極的活用等具体的な記述が乏しい内容にとどまっています。</p> <p>⑨ 14ページ「土地利用」の文中に「本市は、東西・南北の主要な道路が人と物の動線となるとともに・・・」、の記述、及び「駅周辺には商業が集積するなど生活利便性が高い地域構造になっています」とあります。</p> <p>*これらの記述はあくまでも武蔵小金井駅を中心とした小金井市西半分を意識したものであり、東半分の地域（東町、梶野町、関町、緑町、中町の一部）の人口は、近年の増加で全市の40%前後に達しているにも拘わらず、東小金井駅北口の区画整理事業は遅々として進まず長期間を要しております。40ページの記載では「地権者との丁寧な話し合いを第一に事業を進めており、令和8年度まで事業期間を延伸しています」と残念ながら行政の気持ちが籠らない淡泊な表記となっており、早期に住民の利便性を向上、及び交通事故リスクの軽減を図ろうとする行政の意思が全く示されておりません。一方で再開発の手法が異なるとはいえ、武蔵小金井駅南口の再開発の2大プロジェクトは共に終了してしまい、更に北口開発に言及される状況は、西/東の扱いの差異を強く感じます。</p> <p>これらの件に限ぎらず小金井市の万事「西高・東低」の行政の姿勢に、同等に市民税等を支払っている住民として悔しさを禁じ得ません。</p> <p>*また東半分の地域での南北の主要な道路である「東大通り(都市計画道路3・4・11号)』の拡幅についてもJ R</p>	<p>⑮34頁の施策1の目指す姿に記載しています。</p> <p>⑯43頁の施策の方向性④、51頁の施策の方向性③に記載しています。</p> <p>⑰都市計画道路については、44頁の施策6に記載しています。</p> <p>⑱防災は自助・共助・公助が大切であり、それらを充実させることで災害に強いまちづくりを進めることを示しています。都市計画道路については44頁の施策6都市インフラの整備に記載しています。また、近隣市との連携体制等については、49頁の施策の方向性③にございます。</p> <p>⑲御意見ありがとうございます。</p> <p>なお、(追)については、市のみどりの基本計画策定に向けた基礎調査と考えられます。本計画案とは直接関係ありませんが、市に伝えさせていただきます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>中央線以北の一部がとん挫しており、朝夕の通勤・通学が往来する時間帯は非常に危険な状況が続いているにも拘わらず放置されています。また都市計画道路3・4・11号についても、「みどりを守るという一部の強い意見」に押され、狭隘な道路での車の往来で毎日交通事故のリスクに相對している住民の声がかき消されてしまい、東八道路への繋がる計画がとん挫しております。この都市計画道路3・4・11号は、小金井市東半分の地域の唯一の南北幹線道路になるもので、災害対策上も重要な機能を担っています。西地域の小金井街道がビルの崩壊等で不通になった場合は、小金井市の災害拠点となる小金井公園に通ずる代替道路という機能も期待されるものです。</p> <p>本件についても、東小金井駅北口開発と同様に行政の意思が全く明示されておりません。</p> <p>(注) 本年2月に都市計画道路小金井3・4・1号と小金井3・4・11号についてアンケートがなされた模様ですが、利害関係の薄い一般市民を対象に行っており実務上、行政の判断材料としては適さない偏ったものと思われる。また小金井3・4・1号と小金井3・4・11号とでは性格・位置づけが異なり同列では語れないものがあり、これら二つの計画道路をパッケージにして対応するのは不適當と思われる。</p> <p>⑩ 14ページ「土地利用」の文中に「・・・更なる利便性の高い拠点の整備が課題です」とありますが、どこの場所・地域を想定しているのか明示しておりませんが、武蔵小金井駅の南駅口に続き、同駅北口の再開発を想定したも</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>のと推測出来ます。尚、この記述を残すのであれば、どのような利便性を明確にするために「生活利便性」と修正するのが適当と思われま。</p> <p>⑪ 14～15ページ「公共施設」の文中に「現在では6割以上の建築系公共施設が築30年以上・・・」とありますが、より正確な情報開示の観点から、後述の通りもっと切迫した状況を明示するべきではないでしょうか。→「現在では6割以上の建築系公共施設が築30年以上経過しており、特に災害発生時には重要な拠点となる学校教育系及び行政系施設は築40年以上のものが多くを占めております。また道路や・・・老朽化が進んでおります。」  (注) 2018年版小金井データブック記載の情報を参考にしました。</p> <p>⑫ 16ページ 「4. 小金井市将来像」では『いかそうみどり、増やそう笑顔、つなごう人の輪』、次の⑬ページの「5. まちづくりの基本姿勢」は共にかなりハードルの高い表現・スローガン（耳にやさしい）となっておりますが、果たして後段の前期基本計画の各施策を進めることにより到達可能なレベルかどうか疑問を感じざるを得ません。</p> <p>⑬ 18ページ 「環境と都市基盤」の記述で「美しく質の高いみどり・・・」とありますが、みどりを構成する樹木、公園、街路樹等の手入れが、関連予算削減等で適切になされているとは言い難いで状況にあります。また生い茂</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>った樹木・高木で日照権を奪われ、秋の落葉で迷惑を被っている近隣住民の気持ちをどのように理解・整理されているのでしょうか。特にみどりに関しては、行政及びその関係者は「表（おもて）」の部分にばかりフォーカスして「裏（うら）」の部分を見向き・なおざりにして嫌いがあります。小金井市として、予算を含む行政運営資源を充当して適切に管理可能な「みどり」を選別・洗い直し、徒に「みどり」の総量、緑被率を追っかけることについて一度立ち止まって検証する必要があると強く感じています。</p> <p>⑭ 18ページ 「豊かなみどりと水の保全と活用」は「水源」に置き換えるのが適当ではないでしょうか。</p> <p>⑮ 18ページ 「豊かなみどりと水の保全と活用」中で「景観」という言葉が使われていますが、行政の管理部分であれ、個人の管理部分であれ、適切に手入れのなされていない樹木、草花、野菜畑は、ただの雑木林や雑草でしかなく景観を構成し得ず、後段の施策の中できちっと「適切な管理がなされる」ことが前提条件になることが明記される必要があります。また住宅地の中の田畑は、時として枯れ葉や砂塵をまき散らす原因にもなっており近隣住民が迷惑を被っています。</p> <p>⑯ ページ42 住環境の整備 空き家対策についての言及が見当たりません。空き家対策は各自治体の共通の問題・課題ですが、長く放置され、街の景観を損なっている物件が市内に散見されます。行政と</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>してどのような取り組みを行っておられるのか不明・不詳ですが、放火リスクが懸念されることでもあり確りとした対応をお願いしたいと思います。</p> <p>⑰ ページ46 交通環境の整備          小金井市は JR 中央線の二駅、及び西部多摩川線の一駅の鉄道三駅を有しておりますが道路事情は必ずしも良いとは言えません。特に各高速道路へのアクセスについては近隣市の中で最低だと思います。近い将来東八道路と東京外環道路が繋がることを考慮すれば小金井3・4・11号は有益な幹線道路になると思われます。また府中都市計画道路3・4・16号府中東小金井線は事業中で、甲州街道に繋がり、中央高速府中スマート IC へのアクセスが容易になります。          *放置自転車に関する意識向上は、一般不特定多数の市民にどのように効率的に行うのか不詳です。寧ろ、罰則を厳しく（料金の引き上げ5千円以上）し、撤去は通報から長くとも一週間以内にすべきと考えます。</p> <p>⑱ ページ48 「防災態勢の整備」では非常に淡泊な軽いタッチの記述になっています。          高い確率で発生するであろうとされている「首都直下型地震（東京湾北部地震、多摩直下地震、元禄型関東地震、立川断層帯地震）に対する備えは大変重要ですが、行政計画、政策、施策のどこにも記述がありません。毎年のように全国各地で発生している大規模災害で、行政の備えの有無・巧拙が被害の大きさ、災害発生後の立ち上がりの是非を左</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>右していることが明らかになっています。小金井市にとって、多摩直下地震、及び立川断層帯地震はより身近な事柄であり、ひとつの施策項目の中でしっかりと行政の意識・考えを明示すべきと思われます。この中には住民に対する意識向上のみならず都市計画道路の推進、近隣市との連携態勢等も網羅する必要があります。</p> <p>⑭ ページ50 地域の安全・安心の向上          小金井警察署、及び小金井消防署(含. 救急隊)の方々がしっかり任務を遂行して頂いており安心しております。</p> <p>(追) 令和元年度 小金井しみどりの実態調査報告書(令和2年3月 小金井市)          この膨大な報告書が、小金井市の行政に如何に生かされるものか不詳ですが今回の参考資料として通読させていただきました。気づきました一つに、15ページ          (4) 人文条件 1) 開発発展の歴史 表1-1. 2本市の開発発展の歴史の中で西武多摩川線新小金井駅(1917年)、東小金井駅開設(1964年)を追加記載するのが適当と考えます。</p> <p>以上</p>	
56	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>P34 目指す姿の、美しく質の高いみどりとは?          「質の高いみどり」は誰が決めるのでしょうか。          みんなの力で適切に保存とありますが、合意・話し合いが抜けている感じ。          市民の中には高い樹木をキラッたり、鳥の巣や虫がいるといたり、様々な意見もあることとは思うが、後世に残し</p>	<p>17 頁に記載してありますとおり、本計画案は、市民、団体、事業者、市を含めた「私たち」を主体として考えました。</p> <p>「美しく質の高いみどり」「利便性の高い道路ネットワーク」についても、様々な立場の「私たち」が検討しながら目指していくものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>ていくみどりの保全是、人間同志がよく話し合う、結論を急がないことこそ大切。 進行形のコロナ禍の中、特に、切に感じます。</p> <p>P44 目指す姿の 利便性の高い道路ネットワーク この文言も、誰にとってなのか、ついつい車人の立場なのでは、と勘ぐってしまいます。 課題の都市計画道路の項目に、東京都の推めている3・4・1号3・4・11号に市長が留保している点も明記すべきではないでしょうか。 小金井市にとって焦眉の課題だと思うので。</p>	<p>都市計画道路に関する御意見については、本計画が10年間の計画であることや、今後個別に検討を要する事業であることから、本計画案には記載しておりません。</p>
57	<p>基本構想 基本計画 (環境と都市基盤) (地域と経済) (子どもと教育) まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>	<p>(1) 6頁、【基本構想の役割】の中に、 ●市の施策として取り組む事業の指針となるものを入れてください (理由)：役割の中に、市民活動や事業者の取り組みの指針となるものという記載があるのに、行政の施策とこの構想の関わりについての記載が無いのは不備だと思います。</p> <p>(2) 12、13頁の 社会潮流 の中に、「昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で、新しい暮らし方やまちづくりへの転換が求められている。不要不急の道路計画については、見直しを含めて検討することが必要とされている、」という事を入れるべきと考えます。 別項目立てが好ましいとは思いますが、もし無理であれば、「持続可能が社会の構築」もしくは「安心・安全への意識の高まり」の中に、記述を追加してください。</p> <p>(3) 45頁、施策の方向性④都市計画道路の拡幅等の整備の中に</p>	<p>(1) 7頁に基本構想の説明をしており、その中で「まちづくりの基本姿勢を踏まえた政策の取組方針を示すものです。」と示し、行政の施策との係わりについても触れています。</p> <p>(2)(3)(4)(5) 本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、皆様の御意見も参考にしながら、審議会で改めて全体の見直しを検討してまいります。 つきましては、今回まとめました検討結果は、現時点での審議会の回答であり、今後の検討次第で変更となる場合があることを、御理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>(6) 指標については、国や東京都などの調査項目の中から採用したものであり、現在お示ししている指標が最適なものと考えています。</p> <p>(7)(8) 個別事業の中で検討していくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>「新型コロナウイルス感染症などの対応を優先させる財政上の問題もあり、新たな都市計画道路の整備については、見直しを含めて検討すべきである」の記載を入れてください。</p> <p>(4) 49 頁、施策の方向性の①防災訓練の充実 の中に、新型インフルエンザ等感染症の防護訓練・・・のくだりがあります。今回の新型コロナウイルス感染症によって新たな施策の必要性が出てきたと思いますので、その点についてもう少し踏み込んだ記載が必要だと思います。</p> <p>(5) 51 頁、指標の中に、「消費者啓発事業への参加人数」がありますが、新型コロナウイルスの影響でソーシャルディスタンスが求められる状況では、指標として人数の多さなどを使う事を見直した方がよいと思います、実際に事業に参加した人の人数ではなく、いかに浸透させることができたかなどの、質の深さなどを指標にする工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p>(6) 57 頁、指標の中に「自分には良いところがあると思う〇〇の割合」がありますが、自己肯定感というものは、良いところがあるとかないとかいう事ではなく、悪いところがあったとしてもそこを含めて自分自身を受け入れられるかどうかという事なので、この指標は好ましくないと思います。どうしても子どもたちの気持ちを聞きたいのであれば、自分が好きと思うか、とか自分らしく居られる場があるかとか、そういった表現にできないでしょうか。</p> <p>(7) 63 頁、施策の方向性③子ども一人ひとりの困りごとに対する対応の中に、貧困や情報が行き届かない家庭にの子どもに対しての配慮を入れて欲しいです。</p>	<p>(9) 本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、皆様の御意見も参考にしながら、まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会において改めて検討させていただきます。</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>子どもは自分の家庭や人間関係に課題があること、親が病気であることなどに気づきにくく、また気づかれることを恐れているので、学校や地域が配慮することが必要です。それらに対する対応が求められます。特に GIGA スクール構想などで、置きざれにされる子どもや家庭が無いよう配慮することの記述を、お願いします。</p> <p>(8)90 頁、現状の「○学童保育所委託、学校施設管理業務委託、市民課窓口委託などの民間委託を進めています。」については、安易な民間委託ではなく行政としての設置基準などが必要な分野においては、市としての責任を明確にし、協働運営の形などを模索することを望みます。したがって、この記載については単純に民間委託を進めますではなく、修正をしていただきたい。課題の「●民間の力をいかした新たな公民連携の推進が必要です。」とも合わせて、もう少し踏み込んだ表現に修正を提案します。</p> <p>(9) 96 頁、基本目標 1 の数値目標に○市内滞在人口の増加、○市内 3 駅の 1 日平均の乗客数の増加と記載されています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅勤務やリモートワークの必要性。職住接近・公共交通手段による移動などについて、様々な見直しが検討される中、地域活性化のための人口増や乗客数の増加を指標とするのは控えたほうがよいと思います。指標としては、地域での新しい仕組みの検討や創設、地元産業の推進や地域雇用増加などを考えてはどうでしょうか。</p>	
58	基本計画 (文化と生涯学習)	<p>施策 1 9 人権・平和・男女共同参画の尊重  <b>■</b>施策の方向性 (7 1 頁)</p>	御意見のとおり、審議会においても性的少数者への理解を促進することは、多様性を認め合う社会の実現に必要な

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>②男女共同参画の推進の中に文章の追加をお願いします。          &lt;～パートナーシップ制度の周知や、相談・各種支援事業～&gt;</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>&lt;～パートナーシップ制度の周知及び、多様な性自認・性的指向の人々への理解を深めるための取り組み、相談・各種支援事業～&gt;          ★”及び、多様な性自認・性的指向の人々への理解を深めるための取り組み”を入れて下さい。          以上よろしくをお願いします。</p>	<p>ことであると認識しています。そのため、本計画案では性的少数者への理解を促進していくための具体的事業として、パートナーシップ制度の周知を挙げています。そのほかの取組については、現在策定中である個別計画の中で検討していくべきものと考えます。</p>
59	基本計画 (環境と都市基盤)	<p>快適な市民生活と円滑な交通の確保、道路の安全性や環境の向上の図るため都市計画道路の建設及び拡幅整備に当たり自然、環境を破壊するような3・4・1、3・4・11のような幅員18M、16Mのような大型道路は不要で小金井市固有の緑の資源保全、動植物の生態系、環境を破壊してまで実施すべきではない。</p> <p>限られた財政、公共投資厳選の必要性から可及的速やかに手を付けなければならない、例えば連雀通り等で歩道が確保されていない、歩くのも危険なところをまず拡幅が必要。</p>	<p>みどりの保全・活用については、施策1みどりと水の環境整備のとおり、私たちみんなの力で適切に保全、活用していくことが重要です。都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、利便性と環境保全に関わりますので、熟慮が必要な問題と考えております。本計画は、施策について方向性を示しているものであるため、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p> <p>いただいた御意見のとおり、限られた財源の中、事業を進める必要があるため、重要度・必要性を十分に考慮し進めるべきものと考えています。</p>
60	基本計画 (子どもと教育)	<p>第5次基本構想は人とのつながりを重視したものと感じました。          特に若い世代の力を借りてこのまちを活動的なまちにしたいと          環境にも地域づくりにも子育て世代の力を取り入れるこ</p>	<p>人とのつながりは重要だと思いますが、一方で新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、御意見を参考にしながら、審議会で改めて全体的見直しの中で検討してまいります。</p> <p>また、様々な個別具体の御意見をいただいておりますが、</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>とがポイントになると感じます。</p> <p>しかし、環境がいいからと転入しても保育園に入りづらかったり他の市より手当が少なかったり</p> <p>緑が多いといっても大きな公園に頼り自由に子どもが遊ぶ環境や居場所は実はすくなかったり、他市にうつる若いファミリー世代がいます。</p> <p>非常に残念です。</p> <p>また、この世代は、地域との関係作りが薄く子どもを介して地域とつながる世代です。</p> <p>子どもが楽しめる場の創出を大きなイベントだけでなく路地や小さな公園でできる(ヨーロッパではプレイデイには道が遊び場になったりします)</p> <p>加えてそのイベントがただ消費する側だけでなく一緒につくれるかえられるような体験型を増やすことが必要だと思います。</p> <p>特に学齢期に至るまでにどれだけ直接的な体験のできる場を増やすことができるか</p> <p>子どもの育ちに必要であるのは言うまでもないですがその子どもの体験が親にとってもこのまちへの愛着を深めると思います。</p> <p>小金井市には子どもの権利条例がありますがそれを活かしたまちづくりを進めてほしいと思います。</p> <p>子どもも市民であり</p> <p>子ども時代に十分その気持ちや意見を聴いて</p> <p>子どもの意見が実現されるような環境で育つことはまちへの愛着を深め非常にボランティアシーの高く育つことが指摘されています。</p>	<p>それらの内容については個別事業の中で検討していくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>学校教育のなかだけでなく町全体で子どもの意見表明を取り入れる仕組みを作ってほしいです。</p> <p>協働提案事業は大人だけでなく子どもの意見が取り入れられるような仕組み作りが他の地域ではあります。次世代のより良い市民を育てる耕しの観点がほしいと思います。</p> <p>コロナ禍の中だからこそ人とのつながりの大切さを子どもたちに伝えていってください。</p>	
61	<p>基本計画 (全般) (環境と都市基盤) (子どもと教育) (文化と生涯学習)</p>	<p>全体について</p> <p>部署をまたいだ課題について、どこで議論し決定するのか。</p> <p>例えば、緑地や自然環境を保護することと、都市計画道路を整備することが矛盾する場合、どう整合性を取るのか。行政は問題として認識し、明記すべき</p> <p>P36 ★施策2 循環型社会の形成 について</p> <p>小金井市は3Rを推進をうたいながら、リユースに関して政策を後退させている。</p> <p>リサイクルセンターが縮小された。この先は閉鎖になり、次の計画は白紙である。</p> <p>小金井市は率先して3Rを行っていくという力強い表明が必須であると思う。</p> <p>市民に3Rを促す以外に、市としての取り組みを具体的に上げ、本気度を示すべき</p> <p>P38 ★施策3 環境保全の推進 について</p> <p>・民間地のミニ開発による緑地減少に歯止めをかける方策がなく、なすすべもなく放置しているのが現状である。</p>	<p>部署をまたぐ課題については、これまでも市では横断的な会議を開催して検討するなどしており、施策29の持続可能な行財政運営や市民サービスの維持・向上には欠かせないものと捉えています。今後の情勢等に即した組織の在り方としては、活力ある機能的な組織づくりとして方向性を示しています。</p> <p>3Rについては、本計画案においては、発生抑制を最優先とした3Rの推進としています。本計画では方向性を示し、具体的な事業については記述していませんが、いただいた御意見は、今後事業を進める上で参考としていくべきものと考えます。</p> <p>緑地の保全については、土地所有者の意向などもあり、難しい問題ですが、施策1みどりと水の環境整備において、重要な課題ととらえ記載しています。生物多様性は自然環境において重要な視点ですが、本計画案においては、環境に対する様々な視点は、「みどり」に包含して記載しています。また、コロナウイルス感染症についての記載については、文案策定時には社会問題となっていなかったため、記載がありませんが、今後、審議会で改めて全体の見</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>民間だから公は口出しできないという原則から一步踏み込み、市として貴重な緑地を守っていくにはどうすればいいか。</p> <p>重要な課題として認識し、ここに明記するべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の視点を入れてほしい。</li> <li>・コロナで生活様式が変わり、多くの時間を自宅周辺で過ごす人が多くなった。</li> </ul> <p>これからの時代に自然やみどり果たす役割の重要性を明記するべき</p> <p>P45 ★施策6 都市インフラの整備 について</p> <p>都市計画道路の整備進捗率が低い、未整備路線には、拡幅ではなく新設するものもある。</p> <p>60年近く前に計画決定されており、現状に鑑みて必要性が低いと考えられるものも少なくない。</p> <p>都の計画をそのまま実行するのを良しとせず、市として立ち止まり全体を見て要・不要を判断する必要がある。</p> <p>特に第4次事業化計画優先整備路線に選出された2路線については、市議会で見直しの採択が複数出され、市長も見直しを都知事に要望するなど地元の意見は明らかである。</p> <p>全てを整備するものとして扱わず、見直しが必要な路線もあることを明記すべき。</p> <p>P47 ★施策7 交通環境の整備 について</p> <p>現状認識として、地域の小規模商店が姿を消し、買い物に困る住民がいる。</p> <p>今後も増え続けることが予想され、今後の課題として重要である。</p>	<p>直しを検討してまいります。</p> <p>都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、利便性と環境保全に関わりますので、熟慮が必要な問題と考えております。また、本計画では、政策については取組方針、施策については方向性を示しているものであるため、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p> <p>避難場所の環境整備については、施策8 防災態勢の整備に含めて記載しています。災害物資・設備の充実を図るうえで、いただいた御意見を参考にして進めていくべきと考えます。</p> <p>施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重については、目指す姿に「誰もが」と記載し、対象を限らないよう意識しています。また、施策の方向性としている人権尊重には多様な文化の尊重も含めるものとして表現しています。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>何のためのバリアフリーなのかを明記すべき。  高齡者、乳幼児のいる人、車椅子利用など障がいのある人など社会的弱者を中止にした交通対策が必要という認識を明記してほしい。</p> <p>P64 ★施策16 学校環境の整備 について  学校は災害時の避難場所であるという視点を入れてほしい  バリアフリー、冷暖房導入など避難生活を想定した整備を進めるべき</p> <p>P70 ★施策19 人権・平和・男女共同参画の尊重 について  多様な文化が共生する社会を作るという視点を入れてほしい  対象は、男女や性自認、外国人にかかわらず、誰でも、ということ明記してほしい  以上</p>	
62	基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)	1. 第5次小金井市基本構想 6ページ まちへの誇りと愛着(シビックプライド)を醸成しをありますが、シビックプライドを削除できませんか?市民に分かりやすく伝えるためにもあまり一般的でなく日常で使わない横文字は難解にさせる要因になり、不要と思われます。 1. 第5次小金井市基本構想 9、10ページ □施策の大綱(4つの柱) □計画の推進とありますが、□が口(漢字のくち)と似ていて紛らわしいです。他の形のマークへ変更してください。 1. 第5次小金井市基本構想 13ページ	シビックプライドについては、(単なる誇りや愛着にとどまらず)地域をよりよくするための当事者意識を伴うものとして今般用いられている言葉であり、その意味を正しく伝えること、また本計画の計画期間である10年間においてそれを周知することも含め、記載したいと考えています。 この度のパブリックコメントでは、デザインは加味しない文案としてまとめております。そのため、表示方法等については、審議会では議論をしておりませんが、市民が読んだ際の読みやすさについては十分に配慮すべきものであるため、今後、レイアウトを検討する際に参考とさせて

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>今後、生産年齢人口を維持するためには、特に転出入の人数が多い20代から30代までの転入維持と転出抑制が課題です。とあるが、転入維持と転出抑制をするために、小金井市を選んでもらえるような街にすることが課題だと思います。気分で住む街を選び、転入や転出をするわけでもないです。また、第4次基本構想では、私たちが「住みやすい」「住み続けたい」と思い、「住んでみたい」と思われるまちを目指してきました。という考えとも合致します。文章の修正をお願いしたいです。</p> <p>1. 第5次小金井市基本構想 14ページ          小金井市の魅力としては、「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」であるはずですが、文中では「本市は、交通アクセスの良さ、閑静な住環境、豊かな自然や大学などの教育・研究機関が 集まり、暮らしやすい環境を強み」となっています。強みと言うなら、交通アクセスの良さは一番最後に回すように修正していただきたいです。</p> <p>1. 第5次小金井市基本構想 16ページ          すみません、見せ方をデザインしたのだと思うのですが、文字が中央によっているのととても読みにくいです。左寄りに直せませんか。目立てたせたいなら二重線の枠で囲むのはどうでしょうか。</p> <p>1. 第5次小金井市前期基本計画 P34          ・既存公園・緑地の新たな活用のところに、公園でのイベント開催の積極的推進を検討していただきたいです。日常で利用しているところが賑やかな非日常になることにより新たな魅力発信と、集うことにより協働の仕組みづく</p>	<p>いただきます。</p> <p>20代から30代までの転入維持と転出抑制が課題という記載については、課題について記載する項目であるため、端的に課題のみ記載しています。いただいた御意見の通り、選んでももらえるまちづくりは重要であると考えています。「住みたい」「住み続けたい」まちについての意見は、若者を対象としたワークショップでも意見をもらい、本計画案の推進が「住みたい」「住み続けたい」まちにつながるよう施策全体に反映しています。</p> <p>本構想案14頁における記述については、いただいた御意見を参考に、審議会において文案の修正を検討したいと考えています。</p> <p>本構想案16頁のデザインについては、先に述べたとおり、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>本計画案34頁及び37頁についてのイベント等の開催が必要という御意見については、今後事業を検討する上で参考としていくべきものと考えます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>り、防災時への有効活用に繋がると思います。</p> <p>・普通の花の植替え体験はボランティア体験要素が強く、残念ですが、イベントとして積極的に参加したくなる程の魅力的があるとはあまり思えません。イベントとしての切り口で若者・子育て世代を取り込みたいなら、もっと別の注目したくなるような発想でのイベント開催が必要だと強く思います。</p> <p>1. 第5次小金井市基本構想 37 ページ</p> <p>ごみのポイ捨て・不法投棄などの防止とありますが、美意識の定着に向けた取り組み、とても良いと思います。</p> <p>意見となりますが、子どもから大人まで参加できるボランティアゴミ拾いをイベントととして開催して欲しいです。</p> <p>例えば、ボランティアゴミ袋を配布し、いっぱいになったら、子どもはキャンデーがもらえる。などのような。</p> <p>子どもの頃から道に落ちているごみを意識できるようになれば、美化活動を自分事として考える良いきっかけになると思います。意識を育てるなら子どものうちからの方が効果が高く、親子で参加出来れば楽しく、家族単位で意識が高まります。また商店街も巻き込んで地域とも繋がる、協働としても意味があると思います。ご検討ください。</p> <p>以上です。よろしく申し上げます。</p>	
63	<p>基本構想 基本計画 (全般) (子どもと教育) (福祉と健康)</p>	<p>1) 新型コロナウイルスの影響に触れずに、基本構想・基本計画を構成するのは、現実的ではないと思います。</p> <p>「防災」「健康」「子ども」「経済」「街づくり」の部分に、新興感染症の発生や、昔からある感染症の大流行等に備えて、市としてどのように備えるか、記載しておくべきだと考えます。</p>	<p>1) 本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、皆様の御意見も参考にしながら、審議会で改めて全体的見直しを検討してまいります。御意見については検討の際に参考とさせていただきます。</p> <p>2) 子育ての形には様々な形態があり、様々な支援が必要</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>「子どもと教育」の部分は、特に「未曾有の災害や感染症流行等により、登校ができなくなった場合でも、多様な学びの手段を確保すること」「遠隔授業・オンラインでの学校活動を、平時でも不登校児や病児の学びの形として活用すること」等踏み込んでいただきたいです。</p> <p>2) 「前期基本計画 施策 13 子育て家庭の支援」の内容について</p> <p>幼稚園についての記載があることは評価していますが、全体的に、共働き家庭に関すること（待機児童対策）と、特別な事情があり困難を抱える家庭の支援に関すること（狭義の福祉的な施策）に偏っているという印象を受けます。核家族の片働き家庭では、幼稚園に入園するまで、未就園児を家庭で世話するワンオペ育児が、負担となります。特に、転入直後で地域との繋がりが無い場合や、多胎・多子世帯の場合、負担は大きくなります。</p> <p>施策内容にあるような、従来の単発型・健診検診型・相談型・講義型の「母子保健サービスの充実」や、「子育てに関する情報提供の量と質の充実」が実現したとしても、日常的なワンオペ育児の負担が大きく減るわけではありません。</p> <p>市内で、片働き核家族で3児のワンオペ育児をしている立場から、「育児負担・育児疲れを軽減し、密室育児から脱するための、レスパイト目的の保育サービスの充実」を求めます。</p> <p>具体的には、「就労の有無や利用目的を問わず利用できる」一時保育・病児保育の拡充や、産後ケア・育児ヘルパー・ファミリーサポート制度をより利用しやすくすること等</p>	<p>です。その中で市としてまず取り組むべきは困難家庭の支援が一義的にありますので、偏った表記と取られるところもあると思いますが、全ての子育て家庭への支援が必要なのは言うまでもありません。御意見を踏まえ、待機児童対策のみならず核家族の家庭に対する支援等については、重層的な施策展開が求められるものと考えます。その中で、御提案のあったレスパイト型保育サービス等も選択肢の一つと考えられることから、これらを内包しつつ、より一層、子育て環境の充実に向けた取組が展開されることを期待したいと考えます。</p> <p>3) 1) のとおり今後検討する際に参考とさせていただきます。</p> <p>4) 基本計画の構成は第4次からの継続性も考えながら現在の順番としていますが、重要度順な訳ではなく列記しています。御意見については、今後検討の際に参考とさせていただきます。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>をお願いしたいです。第2子以降の妊娠出産があれば、なおのこと、「上の子の預け先」が重要となってきます。</p> <p>また、新型コロナウイルス禍においては、子供の祖父母が高齢であったり持病があったりする場合、育児を手伝ってもらうことが難しい状況となっています。</p> <p>是非、レスパイト型の保育サービスの充実をお願いいたします。</p> <p>乳幼児への虐待も、子ども関連部署が連携し、「健診後フォロー・未受診者フォロー」と、「教室型・相談型・グループ活動型支援」と、「レスパイト型の支援」と、「生活福祉型支援」を、必要に応じて組み合わせることにより、減らせることになるのではないのでしょうか。</p> <p>切れ目のない支援を、という点では、「発達に偏りのある子とその家庭への支援として、幼保小連携に力を入れている自治体もある」と聞いていますが、小金井市では、市外の幼稚園に通っている場合、どのような影響があるのだろうかと気になりました。</p> <p>3)「前期基本計画 施策 26 健康の維持・増進」の内容について</p> <p>新型コロナウイルスや感染症に関する内容を入れるべき、というのとは上述の通りです。</p> <p>ここでは、推奨されている各種ワクチンの予防接種（科学的に正確な情報の普及、接種率の向上）についても、含めたほうがよいのでは、と考えます。</p> <p>新型コロナウイルスに関連した理由は、「新興感染症の流行時には、必要な感染症専用病床を確保する必要がある。ワクチンで予防できる旧来の感染症は、ワクチンで予防す</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>るべき。」「似たような症状を起こす感染症と鑑別する必要がある。」ということがあげられます。</p> <p>また、昨今の災害の多さを見れば、破傷風を含むワクチンの接種も、重要なのではと思います。</p> <p>子どもを産みたい人が安心して産めるような社会に、ということでは、子宮頸がん等のがんを予防する HPV ワクチン、中高年男性の風疹ワクチンの接種等も重要であると考えます。</p> <p>今後、COVID19 の流行がワクチンや薬の開発により収束・終息したとしても、引き続き、感染症予防は必要な課題であり、基本計画にも明記し、相応の予算を配分していただきたいです。</p> <p>4) 基本計画の構成について</p> <p>このコロナ禍でこの計画を見ると、「健康」の項目が、ずいぶん後ろのほうにあるのだな、と感じました。自然環境や文化等のほうが、人の健康よりも重視されている自治体なのかな、という印象を受けました。</p> <p>第3次以前の、基本構想・基本計画は見えていませんが、当初は、環境問題に関する一般市民の意識も低く、環境破壊・環境汚染が大きな社会問題となっていたのだろうか、と想像しています。</p> <p>小金井市には道路問題やゴミ処理の課題もありますが、「コロナ禍における、人の健康」や、「3密を避けるため、不自由な生活を強いられている子ども達の、健全な発達と学びの継続」について、「自治体としても、しっかり考えて動いていく」というメッセージを強く発信してほしいと感じました。</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		(以上です)	
64	基本構想 基本計画 (環境と都市基盤)	<p>P4 基本構想の目的と策定意義・役割 および</p> <p>P11 (2) 社会潮流 新型コロナウイルス感染症の拡大は社会のあり方も、自治体としての基本的な政策や予算の使い方も大きく変えることになりました。</p> <p>また、気候危機対策としての「2030年までにCO2排出量45%削減」という国連の求めに対応するには、自治体としてのさまざまな施策も大胆に見直す必要があります。</p> <p>この二つの事態を受けた構想・計画でなければ、現実離れた意味がないものになってしまうのではないのでしょうか。</p> <p>P9 環境と都市基盤 環境問題に関する世界的な最大課題である気候変動について、「地球温暖化対策地域推進計画」が全く達成できなかったことを真摯に受け止めて、明記すべきです。</p> <p>P11 (2) 社会潮流 第4次計画には「環境問題の深刻化」という項目がありましたが、今回はなくなっています。環境問題は気候危機をはじめとして一層深刻化しているにもかかわらず、なぜ今回削除することになったのでしょうか。「持続可能な社会の構築」が新設され、解説の中に「地球温暖化」の単語はありますが、書かれている通り「持続可能性」もSDGsも総合的な政策に関する概念であり、環境問題はその一部です。</p>	<p>本計画案については、新型コロナウイルス感染症による影響をどのように反映させていくべきか、皆様の御意見も参考にしながら、審議会で改めて全体の見直しを検討してまいります。御意見については検討の際に参考とさせていただきます。</p> <p>地球温暖化対策のCO2排出量削減について未達成であったことは、東日本大震災以降火力発電による発電が増え、電力によるCO2排出量が増えている影響が大きく、また、市内で排出されるCO2は市民生活により排出される割合が大きいところから、本計画案では、「省エネルギーに取り組んでいる市民の割合」「公共施設の温室効果ガス総排出量」を指標として設定しています。地球環境への負荷の軽減が必要という方向性を示し、そのための具体的な取組は、個別の地球温暖化対策地域推進計画の中で定めていくものと認識しております。</p> <p>社会潮流への表記については、御意見のとおり、環境問題は持続可能性の取組の一つです。</p> <p>持続可能性が環境分野だけでなく様々な分野に必要な概念となっており、持続可能な社会の構築とまとめており、後退したというよりも、SDGsを意識して前進させている認識です。</p> <p>38頁施策の「現状」は、社会的な潮流ではなく市の取組の現状を記載していますので、気候変動を明記するものではない認識です。その上で施策の方向性を39頁に記載しております。気候変動には様々な理由があると思いますが、その中で本市として取り組む方向性を列記したも</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>環境問題については、明らかに大きく後退した認識となっています。</p> <p>P18 環境と都市基盤          小金井市の自然・環境を守り次世代に引き継ぐには、地球規模での環境破壊、気候危機に真摯に向き合い自治体からの取り組みを進める必要があります。この10年でのCO2削減の重要性への言及は必須です。</p> <p>P38 施策3 環境保全の推進          環境問題に関する世界的な最大課題である気候変動について、「地球温暖化対策地域推進計画」が全く達成できなかったことを真摯に受け止めて「現状」に記載し、「課題」「施策の方向性」において強力な取り組みを明記すべきです。</p> <p>「地球温暖化防止対策の推進」と「ヒートアイランド現象の緩和」は並列で記載する施策レベルではありません。</p> <p>「地球温暖化」ではなく「気候変動」あるいは「気候危機」とすべきです。</p> <p>P44 施策6 都市インフラの整備          現状、課題、施策の方向性のいずれにおいても「都市計画道路の整備推進」が書かれていますが、現在の小金井市での道路計画に関する最大の問題は、「はけと野川の自然環境を破壊する、市民も市議会も市長も見直しを求める都市</p>	<p>のとの認識です。御意見は、事業を進める上で参考としていくべきものと考えますので、市に伝えさせていただきます。</p> <p>都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、利便性と環境保全に関わりますので、熟慮が必要な問題と考えております。本計画では、施策について方向性を示しているものであるため、個別の都市計画道路をどのように進めるかについては記載しておりません。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>計画道路事業が東京都によって押し付けられている」ことです。市の意思として、この二本の都市計画道路事業の中止を含む見直しを明記すべきです。</p>	
65	<p>基本計画 (環境と都市基盤) (子どもと教育)</p>	<p>1 環境と都市基盤            施策1 みどりと水の環境整備  <b>■施策の方向性①切れ目のない協働の仕組みづくり</b>            (1) 環境美化サポーターの更なる推進のためにも、公園や都市農地・緑地・屋敷林の保全と活用のためにも、新たな仕組みとして「環境コーディネーター」のような、地域と行政をつなぐ役割が必要な時代です。ここで言っている、若者や子育て世代の参加を促すだけに留まらない中間支援組織の構築を求めます。            施策2 循環型社会の形成  <b>■目指す姿 私たちが一体となって3Rに取り組む、循環型都市「ごみゼロタウン小金井」</b>            (2) ここでは世界的な課題になっている、マイクロプラスチック問題や、ごみの焼却によるCO2発生、地球温暖化に触れないのは不自然です。小金井がごみゼロタウンを目指すのならば、基本計画でも、焼却につながるプラごみはゼロをめざすと載せるべきです。            施策3 環境保全の推進  <b>■施策の方向性②地球環境への負荷の軽減</b>            (3) 再生可能エネルギーへの取り組みが薄いと感じます。住宅における再生可能エネルギー機器の導入促進だけでなく、公共施設での導入もさらに促進すべきであり、災害時のエネルギー確保の観点でも、福祉避難所への再エネ機器導入は目指してほしいです。</p>	<p>環境美化サポーターの更なる推進について、具体的な取組内容は個別計画の中で検討を進めていくこととなりますが、いただいた御意見については、事業を進める上で参考にすべき内容と考えられます。</p> <p>3Rの具体的な取組については、個別計画の中で検討を進めていくこととなりますが、世界的にも課題となっている環境問題を踏まえて、本計画案を策定していく視点は重要であると認識しております。その上で、計画全体の分かりやすさなども考慮しながら、表現を検討してまいりました。</p> <p>再生可能エネルギーの取組について、御意見をいただいた内容については、施策を進める上で参考とすべき内容と考えられます。</p> <p>施策12 子どもの育ちの支援について、子どもの権利の保障や子どもの社会参画と意思の尊重などについては、評価いただきました御意見と同様の趣旨で審議会でも議論を重ねてきたところです。自尊感情を育む重要性和外遊びの重要性についても、目指している方向は同じであるため、これらの施策を進める上で参考にすべき内容と考えられます。指標については、審議会でも様々な意見があり、施策全体を包括するような指標を設定することは大変難しいことではありますが、御意見と同様に子どもたちの自己の存在そのものを肯定する自尊感情がベースにあることは、共通の認識であると考えております。</p>

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>3 子どもと教育</p> <p>施策12 子どもの育ちの支援</p> <p>■目指す姿</p> <p>子どもの権利を保障し、安心して過ごせる居場所や様々な体験の機会を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、全ての子どもがいきいきと健やかに安心して暮らせるまち</p> <p>(4) ここで子どもの権利保障を押さえた点は高く評価します。</p> <p>■施策の方向性③子どもの権利の保障</p> <p>子どもの権利で一番大切なことは、その命と心を守ることです。迅速で適切な救済を図れるよう、子どもの声に寄り添い、子どもが安心して相談できる相談・救済体制の更なる充実を図ります。</p> <p>(5) 子どもの権利で一番大切なことは、その命と心を守ることです。という記述は重要です。また、④子どもの社会参画と意思の尊重で、子どもの参加ではなく、参画としたことも重要です。大きく評価します。</p> <p>(6) P32の■課題●自己を肯定できる経験・体験が必要です。の記述に、●子どもが育つ過程の中で、自分の命・存在を丸ごと肯定的に受け止めてもらえる経験が何より欠かせません。など自尊感情を育む重要性についての記載を提案いたします。</p> <p>(7) p33■施策の方向性では、②豊かな体験や仲間づくりの支援に、「外遊び」を加えていただきたい。外遊びの重要性は文科省でも指摘しています。乳幼児の外遊び、野外保育、森の幼稚園などにも、適切などころで触れていた</p>	

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>だくように求めます。</p> <p>(8) p33■指標では、自分には良いところがあると思う小学生の割合目標が100%、中学生になると75%になります。失敗しダメな部分もある自分も大事な自分、と自己の存在そのものを肯定する自尊感情がベースにあることを押さえていただきたい。</p> <p>以上です。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>	
66	基本構想	<p>第5次小金井市基本構想・前期基本計画（案）について述べます。</p> <p>① p 1 の 1 基本構造の目的と策定意義・役割</p> <p>地方自治体が地域の実情に合わせ主体的に計画実施する時代を迎えました。この考えで東京都のマスタープランに対しては、協調は必要であるが、もっと小金井特徴であるの緑をの保全をさらに強く主張してほしい。はけの道を縦断・横断するような道路計画は現市長の事業化を推進できないという意志を考えていただきたい。</p> <p>② p 4 の計画分野ごとの取り組みの4つの柱</p> <p>の環境と都市基盤のところ、ごみの処理について最初に触れているが。みどりの保全・創出につながるまちづくりの取り組みの後ろにごみ処理について述べたほうが良いと思いますが、環境といているので以下のことを考えた方が良いでしょう。環境とは何を言っているのか明確にしたほうが良い（自然の環境なのか、人間の暮らしやすい環境を指しているのかどちらでしょうか 都市基盤と環境を並べるのはどうでしょうか 相反する言葉ではないでしょうか</p>	<p>①いただいた御意見のとおり、みどりは市の魅力として重要なものと認識しています。都市計画道路については、交通の円滑化や地域の安全性など多様な機能を有するインフラであり、利便性と環境保全に関わりますので、熟慮が必要な問題と考えております。いただいた御意見については、個別に検討を要する事業となるため、本計画案には記載しておりません。</p> <p>②③第4次の計画期間で、環境分野で最も課題とされていたものはごみ問題かと考えますので、ごみ処理についての表記を最初に記載しています。環境には自然環境、地球環境、いわゆるエコなどを含む表現として使用しています。ごみ問題は環境問題である部分が大きく、環境から切り離すのは違和感があります。本市の魅力である自然を大切にすることは重要ですが、市民の利便性と環境が調和したまちづくりが必要と考えます。まちづくりと環境は切り離せない問題だと思いますので、環境と都市基盤としています。</p> <p>④生活する場であるまちにとって、みどりは守るだけでなく、それをいかしていくことが必要と考えており、将来像の文中でも、「守り、いかしていきます」と表現していま</p>



番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
		<p>環境と都市基盤の表題は 環境の保全としてもよいではありませんか</p> <p>小金井市の大きな資質である自然を大切にしたいという意味です</p> <p>③ p 4 の地域と経済</p> <p>上記検討からしますとここにごみ処理とか駅前開発、農業プランを入れたほうが良いと思います</p> <p>④ p 11 の 4. 小金井市の将来像の「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪にこな小金井市」の標語の「みどりいかそう」は弱いイメージです「みどりを守ろう（保全）」の方が積極的な意志が感じられます。</p> <p>⑤ まちづくりの基本方針 p 12 について</p> <p>次の世代にとって豊かで暮らしやすいとありますが、次の世代にとっても環境が豊か（小金井の特色のみどり、水、自然）でとした方がわかりやすい。</p> <p>又持続可能での前に、自然と人の生活が調和のとれた、持続可能なとした方がよろしいと思います。</p> <p>⑥ 6 章 政策の取り組み方針について p 19</p> <p>「美しく質の高いみどりと水、」静かでおちついた住宅地・・・のところですが、小金井の特長である、「武蔵野公園やはけの道、野川への湧水等豊かなみどりと水」でよろしいのではと思います。</p> <p>⑦ p 14 の地域と経済や p 15 の子供と教育、 p 16 文化と生涯教育については特によろしいのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>	<p>す。</p> <p>⑤暮らしやすさは環境だけではありません。福祉や子育てなど、多岐にわたる分野における暮らしやすさ、持続可能性が重要だと考えます。</p> <p>⑥みどりには公園・緑地だけでなく農地や街路樹なども含まれ、水には野川や玉川上水だけでなく、地下水や湧水など、様々なみどりと水があります。具体例を挙げるよりも、全てのみどりと水が「美しく質が高い」と表現しています。</p> <p>⑦御意見ありがとうございます。</p>

※提出された意見は、原則として原文のまま全文を掲載します。また、判別のできない文字は◆で表記しています。